

## 業績目録

### 〔看護学専攻〕

#### 〔基幹看護学講座〕

##### 【論文著書】

(和文著書)

1. 松成裕子. 看護のための放射線学. 放射線生物学・医科学から放射線看護まで 担当章 第5章 B 放射線防護 看護職の役割  
医歯薬出版株式会社, 2023年09月01日

(英文論文)

1. Sho Nakamura, Xuemin Fang, Yoshinobu Saito, Hiroto Narimatsu, Azusa Ota, Hiroaki Ikezaki, Chisato Shimanoe, Keitaro Tanaka, Yoko Kubo, Mineko Tsukamoto, Takashi Tamura, Asahi Hishida, Isao Oze, Yuriko N Koyanagi, Yohko Nakamura, Miho KusakabC38:C39e, Toshiro Takezaki, [Daisaku Nishimoto](#), Sadao Suzuki, Takahiro Otani, Nagato Kuriyama, Daisuke Matsui, Kiyonori Kuriki, Aya Kadota, Yasuyuki Nakamura, Kokichi Arisawa, Sakurako Katsuura-Kamano, Masahiro Nakatochi, Yukihide Momozawa, Michiaki Kubo, Kenji Takeuchi, Kenji Wakai. Effects of gene-lifestyle interactions on obesity based on a multi-locus risk score: A cross-sectional analysis, *PLoS One* 2023; 18(2): e0279169, DOI:10.1371/journal.pone.0279169
2. [Daisaku Nishimoto](#), Shimpei Kodama, Ippei Shimoshikiryo, Rie Ibusuki, Yasuhito Nerome, Toshiro Takezaki, Ikuko Nishio. Association Between Nursing Discussions, Resilience, Workplace Social Support and Burnout: A Quantitative Study in Japan, *Yonago Acta Medica* 2023; 66(3): 355-364, DOI:10.33160/yam.2023.08.008
3. [Daisaku Nishimoto](#), Rie Ibusuki, Ippei Shimoshikiryo, Kenichi Shibuya, Shiroh Tanoue, Chihaya Koriyama, Toshiro Takezaki, Isao Oze, Hidemi Ito, Asahi Hishida, Takashi Tamura, Yasufumi Kato, Yudai Tamada, Yuichiro Nishida, Chisato Shimanoe, Sadao Suzuki, Takeshi Nishiyama, Etsuko Ozaki, Satomi Tomida, Kiyonori Kuriki, Naoko Miyagawa, Keiko Kondo, Kokichi Arisawa, Takeshi Watanabe, Hiroaki Ikezaki, Jun Otonari, Kenji Wakai, Keitaro Matsuo. Association between awareness of limiting food intake and all-cause mortality: A cohort study in Japan, *Journal of Epidemiology* 2023, Advance online publication, DOI:10.2188/jea.JE20220354
4. Miyamoto, K. Yasuda, T. Akaho, T. Ibusuki, R. Shimoshikiryo, I. [Nishimoto](#), D. Miyahara, H. Tokushige, K. Tanoue, S. Koriyama, C. Takezaki, T. Association between brown sugar intake and decreased risk of cancer in the Amami islands region, Japan, *Asia Pac J Clin Nutr* 2023, 32(4): 426-433, DOI:10.6133/apjcn.202312\_32(4).0007
5. Aki Nishikawa, Takumi Yamaguchi, Yumiko Yamada, Hideko Urata, Tetsuko Shinkawa, [Yuko Matsunari](#). How Do Disaster Relief Nurses in Japan Perceive and Respond to Risks? A Cross-Sectional Study: *Nursing Reports* 13(4) 1410-1420 2023.
6. Yumiko Tsuchihashi, [Yuko Matsunari](#). Analyzing the Challenges Faced by Recently-Qualified Nurses in Radiation Therapy Nursing at Japan's National University Hospitals: Uncovering the Determinants of Difficulty. *Asia-Pacific Journal of Oncology Nursing* Available online - 100347 2023.
7. Yuta Kawaoka, Takumi Yamaguchi, Nobuhiko Yanagida, [Yuko Matsunari](#). Deficits in Radiation Health Affects Knowledge among Emergency Nurses in Japan's Nuclear Emergency Core Hospitals: *The Open Nursing Journal* 17 e18744346272802 2023.

(和文論文)

1. 丹治史也, 南部泰士, 柿崎真沙子, 嶋谷圭一, [西本大策](#), 黒澤昌洋. 日本の看護系大学における Institutional Research 活動・業務の実態. *医学教育*, 54(1): 69-79. 2023.
2. 田中久美子, [八代利香](#). 大学院における地域の看護職を対象としたシミュレーション教育. *看護科学研究*, 21: 1-9, 2023.
3. 木下天翔, [八代利香](#). コロナ禍で手術室看護師が経験した倫理的問題. *日本看護倫理学会誌*, J-STAGE 先行公開, 2023.
4. 李慧瑛, 下高原理恵, 山崎奈津子, 本田佳子, 宮菌幸江. 「看護実践能力」に関する研究の動向—医中誌を用いた過去44年間のテキストマイニング分析を通して—. *日本看護学会誌*, 18(1), 170-178. 2023.
5. 小山珠美, 山口拓允, 土橋仁美, [松成裕子](#). 福島第一原子力発電所事故発災時から中長期間で実施された保健師活動と保健師が抱える困難感. *日本放射線看護学会誌*, doi:10.24680/msj.RJ-11003, 2023.

## 業績目録

### 【学会発表】

(国際学会)

1. Daisaku NISHIMOTO, Shimpei KODAMA, Yusaku UEMURA, Fumiko IYAMA, Ikuko NISHIO. Mental health characteristics of healthcare assistants working in support facilities for persons with disabilities eight months after COVID-19 clusters. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年3月 (Tokyo, Web 配信)
2. Nobuhiko YANAGIDA, Daisaku NISHIMOTO, Takaaki SUENAGA, Gou YOSHIHARA, Shimpei KODAMA, Ikuko NISHIO. Pilot study on the association between clinical nurses' resilience and burnout and physiological indicators. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年3月 (Tokyo, Web 配信)
3. Daisaku NISHIMOTO, Shimpei KODAMA, Chiemi NISHIMOTO, Keiko KUBOTA, Asutsugu KURONO, Ikuko NISHIO. Characteristics of health awareness, lifestyle habits, resilience and burnout without specific health re-guidance. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年3月 (Tokyo, Web 配信)
4. Koji Yoshida, Yuko Ikuta, Yuka Noto, Takumi Yamaguchi, Rika Yatsushiro, Aya Gto, Katsumasa Ota, Emiko Konishi, Tomoko Kusama. Strategic Development of Basic and Advanced Radiological Nursing Education in Response to the Fukushima Nuclear Disaster, ICRP 2023, November 7-9, Tokyo
5. Kennison, M., Yatsushiro, R., Yamaguchi, S., Baek, H., Turner, L, Assessing Transformational Learning Outcomes of a Collaborative Online International Learning Experience in Rural Healthcare, 34th International Nursing Congress, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing, July 20-23, 2023, Abu Dhabi
6. Nishio, I., Yamashita, A., Questionnaire-based Needs Assessment of Advanced Practice Nurse Education Course (NP/CNS) with Clinical Nurses, 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年4月 (Tokyo)
7. Shimizu S., Yoshida S, Nerome Y. Knowledge and practice of generalist nurses on cancer pain management in remote islands and the related factors nationwide in Japan. ICN Congress 2023 Montreal. 2023.7 (Montreal)
8. Uda M, Shimizu S. Foot lesions in rheumatoid arthritis patients and practical barriers for nurses giving foot care in Japan. ICN Congress 2023 Montreal. 2023.7 (Montreal)

(国内学会)

1. 西本大策, 兒玉慎平, 西尾育子. KU-OHL project team. COVID-19禍における自己申告の生活習慣改善と習慣的運動との関連. 第43回日本看護科学学会学術集会, 2023年12月 (山口)
2. 峰和治, 服部隼, 李慧瑛, 下高原理恵, 田松裕一. 舌神経歯肉枝の分岐形態について. 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2023年3月 (仙台)
3. 村井孝子, 大城真理子, 豊里竹彦, 松永由理子, 田中さとみ, 李慧瑛, 山口史剛. 若手研究者のワークライフバランスとキャリア形成. 交流集会. 第43回日本看護科学学会学術集会, 2023年12月 (下関)
4. 竹井寛暁, 上和田琴海, 岩吉美保, 下野恵子, 島中慈美, 塗木さゆり, 清水佐智子. 高齢者腎移植レシピエントが抱える生活上の困難. 第56回日本臨床腎移植学会, 2023.2 (東京都)
5. 中野宏美, 中園美香, 川瀬光希, 屋久裕美, 清水佐智子. 第48回日本大腸肛門病学会九州地方会, 第39回九州ストーマリハビリテーション研究会, 2023.7 (鹿児島市)
6. 下窪あや, 前田由紀, 脇田真衣子, 宮原遥, 東祐子, 清水佐智子. 多診療科病棟で働く看護師のストレス—現状と関係する特性に焦点を当てて—. 日本看護研究学会第49回学術集会, 2023.8 (Web 開催)
7. 宇多雅, 岡本杏華, 清水佐智子. 関節リウマチ患者へのフットケアの実際. 日本看護研究学会第49回学術集会, 2023.8 (Web 開催)
8. 清水佐智子. 人を尊重して関わるができるための学部教育の工夫. シンポジウム3 卒前卒後教育 人を尊重してかかわることをどう教えるか. 日本緩和医療学会第5回九州支部学術大会, 2023.11 (鹿児島市)
9. 木下天翔, 八代利香. 手術室看護師の倫理的問題に関する認識. 第37回日本手術看護学会年次大会, 2023年10月27日~28日 (福岡)
10. 麻原きよみ, 小野若菜子, 小林真朝, 浦口真奈美, 河本秋子, 森田誠子, 小西恵美子. 保健師教育における「公衆衛生看護の倫理」科目の展開. 日本看護倫理学会第16回年次大会, 2023年6月3日~4日 (東京)
11. 小山珠美, 山口拓允, 松成裕子. 原子力災害における保健師の役割と課題: 福島事故後の認識と不全感の分析. 日本放射線看護学会第12回学術集会, 長崎市, 2023年9月10日

## 業績目録

12. 土橋仁美, 山口拓允, 松成裕子. 放射線診療に携わる看護師のワーク・エンゲイジメントに関連する要因の同定. 日本放射線看護学会第12回学術集会, 長崎市, 2023年9月9日
13. 川岡勇太, 山口拓允, 松成裕子. 原子力災害拠点病院で原子力災害医療に携わる可能性が高い看護師の放射線におけるイメージと汚染・被ばく傷病者への対応に関する調査. 日本放射線看護学会第12回学術集会, 長崎市, 2023年9月9日
14. 山田裕美子, 山口拓允, 松成裕子. 原子力発電所立地県の保健師における原子力災害初動対応の準備状況および影響要因. 日本放射線看護学会第12回学術集会, 長崎市, 2023年9月9日
15. 松成裕子, 江上史子, 松枝美智子, 増満誠, 本武敏弘, 前田愛, 葛島慎吾. 高度実践看護師の更なる活用と活動の促進を目指して: 高度実践看護師の研究支援システム「研究お助けラボ」の発展に向けて. 第43回日本看護科学学会学術集会, 交流集会, 下関市, 2023年12月10日

(報告書, その他)

1. 李慧瑛, 野原久美子, 濱川光代. 学生の特徴を生かした国試対策 D判定からの大逆転を生むヒント. 看護人材育成, 19(6), 97-103, 2023.
2. 松成裕子. 活動報告, 防災人材育成部門. 桜島火山版 HUG 普及活動 鹿児島大学地域防災教育研究センター令和4年度報告書, 44-27, 2023.
3. 松成裕子. 活動報告, 防災教育部門. 防災士資格取得者数増加に係わる事業 鹿児島大学地域防災教育研究センター令和4年度報告書, 49-52, 2023.
4. 松成裕子. 鹿児島大学の地域防災活動令和5年3月: 鹿児島大学地域防災教育研究センター, 11, 2023.

### 【講演】

1. 八代利香. 日米韓における専門職連携グローバル教育. 鹿児島大学医学部「大学の世界展開力強化事業」クロージングフォーラム, 2023年3月5日 (鹿児島市, ハイブリッド開催)
2. 八代利香. 看護師養成4年制化の取組み 事例③. 公益社団法人日本看護協会2023年度全国看護基礎教育担当役員会議での講演およびブロック別討議総評, 2023年12月20日 (東京)
3. 小西恵美子. 看護と倫理の言葉たち. 日本看護倫理学会第16回年次大会 特別講演, 2023年6月3日~4日 (東京)
4. 西尾育子. 第4回高木兼寛記念シンポジウム, 3大学連携看護学交換実習\_URBAN/RURAL の実習を目指して, 2023年9月 (講演) (宮崎)
5. 清水佐智子. 総評 研究の壁を乗り越える. 第56回鹿児島県看護研究学会, 2023年1月 (鹿児島市)
6. 清水佐智子. 令和5年看護部研修, 看護がみえる看護記録—SOAP 記録が書けるようになる—. 社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター, 2023年7月 (西之表市)
7. 李慧瑛. 合理的配慮を提供する実習体制の構築とその実際. 福岡大学第3回看護学科FD招聘講演会, 2023年8月 (福岡)

### 【その他】

(座長等)

1. 西尾育子. 第9回鹿児島1型糖尿病セミナー グループディスカッション (ファシリテーター), 2023年12月 (鹿児島市)
2. 清水佐智子. 日本緩和医療学会第5回九州支部学術大会 大会長 (鹿児島市)
3. 山口さおり. 鹿児島大学医学部「大学の世界展開力強化事業」クロージングフォーラム「島嶼へき地保健: オンライン国際協働学習の展望と課題, 総合討論司会, 鹿児島大学医学部, 2023年3月5日 (鹿児島市, ハイブリッド開催)
4. 山口さおり. 日本看護倫理学会第16回年次大会 一般演題 (口演) 座長, 2023年6月3日 (東京都)
5. 松成裕子. 日本看護研究学会第28回九州・沖縄学術集会大会長, 2023年11月 (鹿児島市)

(研修会等)

1. 八代利香. 無医地区離島の看護師に求められる倫理について考える. 十島村, 三島村「看護倫理」研修, 2023年7月24日 (オンライン)
2. 八代利香. 組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理的課題. 公益社団法人鹿児島県看護協会令和5年度認定看護管理者セカンドレベル研修, 2023年9月1日 (鹿児島市)
3. 八代利香. 看護論Ⅲ 倫理的配慮と対応方法. 公益社団法人鹿児島県看護協会令和5年度実習指導者講習会, 2023年12月26日

## 業績目録

(鹿児島市)

- 山口さおり. 看護過程概論, 令和5年度看護職対象研修「看護実践のプロセスⅡ」, 鹿児島大学病院看護部, 2023年7月5日 (鹿児島市)
- 山口さおり. ヘンダーソンの看護理論を基盤とした看護過程におけるアセスメント, 鹿児島県高等学校看護理論研修会, 鹿児島県高等学校教育研究会看護部会, 2023年12月25日 (鹿児島市)
- 清水佐智子. 令和5年度出張講義. 命を支える看護師の役割. 鹿児島県立加世田高校, 2023年7月 (Web)
- 清水佐智子. これからの看護界を共に背負って立つ仲間を育てるために, 2023年度臨床指導者研修. 鹿児島大学病院, 2023年9月
- 清水佐智子. ELNEC-J コアカリキュラム2022看護師教育プログラム講師・ファシリテーター. 鹿児島大学病院, 2023年12月
- 清水佐智子. 令和4年度実習指導者講習会, 実習指導の意義と目的, 評価の実際, 鹿児島県看護協会, 2023年12月 (鹿児島市)
- 水田明子, 李慧瑛, 松田史代. 外国人住民のための一日無料相談会&子育て交流会 (専門職相談員), 鹿児島市国際交流財団. 鹿児島市国際交流センター, 2023年3月 (鹿児島市)
- 李慧瑛. 合理的理的配慮に基づく発達障害のある生徒への支援. 鳳凰高等学校教職員研修, 2023年7月・9月 (南さつま市)
- 李慧瑛. コーチング・ティーチングの基本. 鹿児島大学病院看護部指導力向上研修, 2023年7月 (鹿児島市)
- 李慧瑛. 7人の研究者に聞いてみよう. 鳳凰高等学校普通科生徒進路相談会, 2023年8月 (南さつま市)
- 西本大策, 指宿りえ, 田ノ上史郎, 嶽崎俊郎, 郡山千早. J-MICC Study Group. 食物摂取の制限に関する意識と全死亡との関連に関するコーホート研究. 令和4年度コーホート・生体試料支援プラットフォーム若手支援研究成果発表会, 2023年2月 (愛知)
- 松成裕子. 鹿児島市主催「原子力防災訓練に役立てたい知識について」研修会, 2023年2月 (鹿児島市)
- 松成裕子. 環境省・鹿児島大学地域防災教育研究センター共催「助産師を対象とした放射線に関する研修会」総合司会, 2023年1月 (鹿児島市)
- 松成裕子. 環境省・鹿児島県診療放射線技師会・鹿児島大学地域防災教育研究センター共催「放射線に関する研修会」総合司会, 2023年1月 (鹿児島市)
- 松成裕子. 九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会第3回「研究お助けラボ」講師, 2023年3月26日
- 松成裕子. 公益社団法人鹿児島県助産師会令和5年度「災害対策委員会研修会」講師, 2023年9月30日

(受賞・採択事業・社会貢献等)

- 西尾育子. 令和5年度鹿児島大学経営戦略経費 (学長裁量経費) 事業 (1,118,670円)
- 西尾育子. 第16回鹿児島県がん看護研究会, 一人ひとりの生きる力を支援する看護, 2023年8月 (実行委員) (鹿児島市)

〔成育看護学講座〕

【著書】

(和文著書)

- 沖利通. 看護基礎教育テキスト ナーシング・グラフィカ「疾患と看護シリーズ」⑨『女性の疾患と看護』11章 不妊症・不育症 p268-278 2023年版 メディカ出版
- 根路銘安仁. スマイルリボン. HTLV-1の母子感染とキャリアのこと: 教えて! 先生専門医に聞きました. 南方新社, 2023年 (ISBN:9784861244872)
- 根路銘安仁. HTLV-1母子感染対策 医療機関と行政の継続支援体制. 助産雑誌, 2023年9月

(英文論文)

- Eriko Shinohara, Ayako Hada, Mariko Minatani, Mikiyo Wakamatsu and Toshinori Kitamura. The Insomnia Severity Index: Factor Structure and Measurement and Structural Invariance across Perinatal Time Points. *Healthcare*, 11(8), 1194, 2023, peer reviewed journal
- Toshinori Kitamura, Yuriko Usui, Mikiyo Wakamatsu, Mariko Minatani, Ayako Hada. What Are The Core Symptoms of Antenatal Depression? A Study Using Patient Health Questionnaire-9 among Japanese Pregnant Women in the First Trimester. *Healthcare*, 11, 1194, 2023, peer reviewed journal
- Nishimoto D., Kodama S., Shimoshikiryo I., Ibusuki R., Nerome Y., Takezaki T., Nishio I. Association Between Nursing Discussions, Resilience, Workplace Social Support and Burnout: A Quantitative Study in Japan. *Yonago Acta Medica advpub* (0) 355-364, 2023

## 業績目録

4. Seiichi Yokoo, Naoko Yamamoto, Asuka Ikari, Yoshihiro Saito, Mayumi Tuji, Hironobu Koseki. Factors of satisfaction level of older people treated at home regarding medical -health and long-term care services in remote island. Acta Med Nagasaki. 2023, 67(1) 11-18.

### (和文論文)

1. 永野大河, 築詰伸太郎, 沖利通, 牛若昂志, 内田那津子, 神尾真樹, 小林裕明. CART が重症 OHSS の病状遷延の一因と考えられた症例. 鹿児島産科婦人科学会雑誌2023 31; 21-26
2. 新井恵理, 中尾優子, 井上尚美. 離島で働く助産師に必要な能力 インタビュー調査より. 母性衛生, 64 (2) : 433-440, 2023
3. 浦晴香, 井上尚美, 若松美貴代, 東瀬戸沙彩, 大園桂子, 根路銘安仁. 大学生調査から検討した妊娠した高校生に必要な支援方法. 小児保健かごしま, 35 : 17-24, 2023
4. 山本直子, 水野昌美, 田中一枝, 根路銘安仁, 中尾優子. COVID-19感染症流行下での医療的ケア児を育てている母親の思い. 母性衛生63 (4) 948-956, 2023年1月
5. 田中一枝, 中尾優子, 山本直子, 有村夕加, 中山みゆき, 伊地知陸美, 根路銘安仁. NICU に入院している児を育てる母親のリモート面会・情報伝達ツール利用に対する思い. 母性衛生63 (4) 911-918, 2023年1月
6. 久松美佐子, 山下亜矢子, 根路銘安仁, 末永真由美. 精神科病院のない離島の精神障害者の地域定着を支える訪問看護師の取り組み. 社会医学研究40 (1) 5-18, 2023年3月
7. 福重杏梨, 根路銘安仁. 月経に対する主観項目と教育を受けた場所および内容との関係. 母性衛生64 (1) 77-87, 2023年4月
8. 山本直子, 水野昌美, 横尾誠一, 根路銘安仁, 中尾優子. 医療的ケア児を訪問している看護師が考える実践に必要なこと. ホスピスケアと在宅ケア31 (1) 28-35, 2023年5月
9. 水野昌美, 井上尚美, 若松美貴代, 田中一枝, 根路銘安仁. 政府の統計資料からみた2008年から2019年までの鹿児島県における20歳未満の妊娠状況の推移と全国データとの比較. 小児保健かごしま35 (1) 38-46, 2023年8月
10. 益山葵, 藤田華菜子, 佐藤雄太, 佐々木つぐ美, 渡邊聡子, 脇岡奈津子, 白石靖子, 水野昌美, 根路銘安仁. 単一施設の成人・小児病棟間・医師・看護師間の AYA 世代の血液がん患者に対する認識調査からの小児病棟看護師に求められる役割. 小児がん看護18 (1) 16-24, 2023年9月
11. 山田紗季, 水野昌美, 山本直子. プレパレーションの観点からみた採血・点滴時の看護師関わりと実施方法の文献検討. 小児保健かごしま35 : 25-37, 2023
12. 水野昌美・岡本康裕・山本直子. 長期入院を経験した小児がん患児の友人関係～患児への質的調査より～. 日本小児がん看護会誌18 (1) : 7-15, 2023

### 【学会発表】

#### (国内発表)

1. 淵脇彩花, 岡沙羅, 佐々木つぐ美, 小齊平博子, 井上尚美, 萬歳優美. デベロップメンタルケアの質向上へ向けた取り組み～STATE を意識したポジショニング技術の習得を目指して～. 第36回鹿児島県母性衛生学会, 2023年8月 (鹿児島市)
2. 岡沙羅, 佐々木つぐ美, 淵脇彩花, 小齊平博子, 井上尚美, 萬歳優美. ポジショニングの看護手順見直しから見えてきたスキル. 第32回新生児看護学会, 2023年11月 (神奈川)
3. 吉野まどか, 井上尚美. 助産師が母性看護学を教えること 現象学で見た看護専門学校の教員の世界. 第43回日本看護科学学会学術集会, 2023年12月 (山口)
4. 今田南生人, 根路銘安仁. A 看護専門学校における新人看護師の離職意思と就業前・就業後の質問項目との関連性. 日本看護学教育学会第33回学術集会, 2023年8月 日本看護学教育学会
5. 鮫島卯美, 若松美貴代, 井上尚美, 根路銘安仁. 日本の離島の分娩施設の現状. 第36回鹿児島県小児保健学会, 2023年8月 鹿児島県小児保健協会
6. 吉富あきは, 内ノ浦ひかり, 末吉由佳, 内山美香, 田代由美子, 水野昌美, 根路銘安仁. 入院生活中の白血病患児の家族が感じる困難感と看護師が考える家族の困難感の調査. 第30回日本家族看護学会, 2023年9月
7. 鮫島卯美, 若松美貴代, 井上尚美, 根路銘安仁. 離島分娩施設と勤務する助産師の現状調査. 第36回鹿児島県小児保健学会, 2023年12月 鹿児島大学保健医療研究会 第16 回合同研究発表会
8. 沖利通. 婦人科腫瘍領域における漢方療法. 第42回産婦人科漢方研究会ワークショップ, 2023年9月03日 (鹿児島市)
9. 水野昌美, 岡本康裕, 山本直子. 長期入院を経験した小児がん患児の友人関係～患児への質的調査から～. 第28回九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会, 2023年1月 (福岡市) オンライン参加

## 業 績 目 録

10. 関瞳, 水野昌美, 山本直子. 子どもの入院が家族に与える影響についての文献検討. 第36回鹿児島県小児保健学会, 2023年8月(鹿児島市)
11. 末吉由佳, 内ノ浦ひかり, 吉富あきは, 内山美香, 田代由美子, 水野昌美, 根路銘安仁. 入院生活中の白血病患児の家族が感じる困難感と看護師が考える家族の困難感の調査. 第36回鹿児島県小児保健学会, 2023年8月(鹿児島市)
12. 沖利通, 内田那津子, 酒瀬川琢, 沖知恵. 低突出率のTCRからわかる子宮筋腫偽被膜の解剖. 第68回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2023年11月10日(金沢市)
13. 内田那津子, 沖利通, 酒瀬川琢, 沖知恵. 不育症患者のビタミンDについての検討. 第68回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2023年11月10日(金沢市)
14. 沖利通, 内田那津子, 酒瀬川琢, 沖知恵, 小林裕明. 深在型RPOCにおける画像所見の経時的変化. 第31回日本胎盤学会学術集会, 2023年11月4日(福岡市)
15. 沖利通, 川原裕二, 鯨島浩継, 内田那津子, 沖知恵, 小林裕明. 子宮筋腫偽被膜の解剖に関する一考察 低突出率のTCRから. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会, 2023年9月17日(大津市)
16. 新原有一朗, 崎濱ミカ, 唐木田智子, 内田那津子, 沖利通, 小林裕明. 月経異常を伴う両側卵巣腫大を契機に診断されたFSH産生下垂体腺腫の1例. 第80回九州連合産科婦人科学会, 2023年5月28日(大分市)
17. 東拓郎, 沖利通, 内田那津子, 唐木田智子, 崎濱ミカ, 沖知恵, 小林裕明. 月経時に発熱を繰り返した興味ある一例. 第44回日本エンドメトリオーシス学会, 2023年01月22日(高知市 ハイブリッド開催)
18. 水野昌美. 小児看護学教育の取り組み. 第23回九州・沖縄小児看護教育研究会, 2023年8月(鹿児島市)
19. 前田凜, 山本直子. パートナーが妊娠期に抱いた新型コロナワクチン接種への考え～産後のインタビューを通して～. 第64回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2023年10月(大阪市)
20. 福田由香利, 山本直子. NICU・GCUにおける看護師－医師間の協働に関する調査. ～A 総合病院NICU・GCUに従事する看護師－医師への無記名自記式調査より～. 第32回日本新生児看護学会学術集会, 2023年11月(横浜市)

### 【講演】

1. 井上尚美. 命の誕生に寄り添う看護の魅力. 樟南高等学校 出前授業, 2023年6月(鹿児島市)
2. 井上尚美. 未来をつくるプレコンセプションケア. 川薩保健所 北薩地域連携推進研修会, 2023年8月(さつま川内市)
3. 井上尚美. 命の誕生に寄り添う看護の魅力. 川辺高等学校 出前授業, 2023年8月(南九州市)
4. 井上尚美. 生と性を考える あなたならどうする? 性に関する講話. 鹿児島市立玉龍高等学校, 2023年9月(鹿児島市)
5. 井上尚美. 保健指導・保健学習～性に関する課題と指導～. 鹿児島県総合教育センター 令和5年度新規採用養護教諭研修, 2023年10月(鹿児島市)
6. 井上尚美. 助産倫理. 公益社団法人鹿児島県看護協会 令和5年度新人助産師合同研修会, 2023年11月(鹿児島市)
7. 井上尚美. 性に関する教育講演会. 鹿児島大学教育学部附属中学校, 2023年12月(鹿児島市)
8. 井上尚美. いのちの誕生 いのちについて考える. 鹿児島市立皇徳寺中学校 性に関する指導, 2023年12月(鹿児島市)
9. 井上尚美. 性に関する講話. 鹿児島市西紫原中学校 性に関する指導, 2023年12月(鹿児島市)
10. 井上尚美. 津留見美里, 萬歳優美. 性に関する講話. 鹿児島市立坂元中学校, 2023年12月(鹿児島市)
11. 沖利通. 安全な子宮鏡手術のための視野確保と機種別の対応の違い. ランチョンセミナー13 第63回日本産科婦人科内視鏡学会, 2023年9月16日(大津市)
12. 沖利通. 無通電の子宮鏡手術でわかってきた子宮の層構造とその応用. 鹿児島県産婦人科手術懇話会 2023年9月21日(鹿児島市 ハイブリッド)
13. 沖利通. 漢方入門セミナー. 第42回産婦人科漢方研究会, 2023年09月02日(鹿児島市)
14. 沖利通. 産婦人科領域の漢方療法. 第117回熊本産婦人科漢方懇話会, 2023年07月12日(熊本市)
15. 沖利通. 不妊・不育症の基礎知識 生殖補助医療の最新情報. 「鹿児島市不妊専門相談センター事業」不妊相談従事者研修会, 2023年5月30日(鹿児島市)
16. 沖利通. ミニレクチャー 細径子宮鏡について 子宮鏡ハンズオンセミナー. 第75回日本産科婦人科学会, 2023年5月14日(東京都)
17. 沖利通. 外来子宮鏡で変わった婦人科診療—導入からステップアップまで—. 福岡県子宮鏡 Webinar, 2023年1月24日(福岡市 ライブ配信)
18. 根路銘安仁. 管理栄養士・栄養士に学んでほしい小児の発達. 令和5年度(公社)鹿児島県栄養士会第7回リレー研修会, 2023

## 業 績 目 録

年12月（鹿児島市）

19. 根路銘安仁. わたしたちの体と未来の子どもの健康（鹿児島女子短期大学）. 未来の妊娠・出産を考えるきっかけづくり事業, 2023年11月（鹿児島市）
20. 根路銘安仁. わたしたちの体と未来の子どもの健康（県立短期大学）. 未来の妊娠・出産を考えるきっかけづくり事業, 2023年11月（鹿児島市）
21. 根路銘安仁. 児童虐待に係る保健と福祉の連携について（熊毛）. 令和5年度市町村児童福祉担当者・母子保健担当者合同研修会（熊毛）, 2023年11月（屋久島町）
22. 根路銘安仁. 児童虐待に係る保健と福祉の連携について（南薩）. 令和5年度市町村児童福祉担当者・母子保健担当者合同研修会, 2023年11月（南さつま市）
23. 根路銘安仁. 鹿児島県の虐待予防対策や連携の実態, 助産師に求められること. 鹿児島県助産師会11月研修, 2023年11月（鹿児島市）
24. 根路銘安仁. 大学はどんなところ？教育・研究・地域貢献. 鹿児島大学 秋季オープンキャンパス, 2023年11月（鹿児島市）
25. 根路銘安仁. 子どもの成長・発達について. 霧島市障害者自立支援協議会 医療的ケア児専門部会主催研修会, 2023年11月（霧島市）
26. 根路銘安仁. 保育園幼稚園での感染症対策. さつま地区保育連合会主催研修, 2023年9月（さつま町）
27. 根路銘安仁. 小児科医から栄養士に伝えたいこと. 鹿児島市栄養士現任教育研修会, 2023年9月（鹿児島市）
28. 根路銘安仁. 地域の大切な子どもたちをみんなで守ろう いちき串木野市地域における妊婦, 乳幼児の見守りについて. いちき串木野市 第2回母子保健推進員研修会, 2023年8月（いちき串木野市）
29. 根路銘安仁. こどもの虐待・ネグレクトと子育て支援. 鹿児島市東部親子つどいの広場なかまつち 子育て・発達支援コーディネーター養成講座, 2023年8月（鹿児島市）
30. 根路銘安仁. 妊娠・出産を考えてみよう. 熊本県立人吉高校 令和5年度2,3年合同企画 学問ガイダンス「開校人吉大学」, 2023年7月（人吉市）
31. 根路銘安仁. 低出生体重児の増加に対して私たちができること. 南薩・鹿児島郡地区地域保健活動連絡協議会 南薩・鹿児島郡地区地域保健活動連絡協議会研修会, 2023年5月（日置市）
32. 根路銘安仁. 疾患の理解と応急処置～児童生徒に多い症状と考えられる疾患～. 鹿児島県総合教育センター 令和5年度新規採用養護教諭研修会, 2023年5月（鹿児島市）
33. 根路銘安仁. 地域の大切な子どもたちをみんなで守ろう！出水市地域における乳幼児の見守り隊でもある保健推進員の研修会, 2023年3月（出水市）
34. 根路銘安仁. HTLV-1母子感染予防マニュアルの主な変更点について. 鹿児島県令和4年度 HTLV-1対策講習会, 2023年1月（鹿児島市）
35. 山本直子. メディアと子育て～お悩み教えて下さい～. 第1回十島村住民母子支援オンライン講座 十島村村役場住民課, 2023年4月22日（ZOOM）
36. 山本直子. 命の重さと抱き方の基本. 第1回鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん職員研修会. 鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん, 2023年5月25日（鹿児島市）
37. 山本直子. 施設内で安全に過ごしてもらうために. 第2回鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん職員研修会. 鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん, 2023年6月20日（鹿児島市）
38. 山本直子. 医療的ケア児を取り巻く現状. 浄土真宗本願寺派 妙行寺研修会. 浄土真宗本願寺派 妙行寺, 2023年6月30日（鹿児島市）
39. 山本直子. 医療的ケア児とその家族に対する支援. 佐賀大学/佐賀県助産師会主催. 佐賀県助産師リカレント教育プログラム, 2023年7月～9月（オンデマンド）
40. 山本直子. ミルクの与え方・食事介助～安心安全な乳幼児の世話に向けて～. 第3回鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん職員研修会. 鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん, 2023年8月26日（鹿児島市）
41. 山本直子. おむつ交換のポイント. 今までの振り返り実技研修. 第4回鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん職員研修会. 鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん, 2023年9月14日（鹿児島市）
42. 山本直子. ヒヤリハット事例検討とミルクの与え方の復習. 第5回鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん職員研修会. 鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん, 2023年10月5日（鹿児島市）
43. 山本直子. ヒヤリハット事例検討②事故防止に向けて. 第6回鹿児島市南部親子つどいの広場たにっこりん職員研修会. 鹿児島市

## 業績目録

市南部親子つどいの広場たにっこりん, 2023年12月5日 (鹿児島市)

44. 若松美貴代. コロナ禍における妊産婦への支援. 鹿児島県助産師会研修, オンライン開催, 2023年1月
45. 若松美貴代. かごぶれの相談結果から若年者への支援を考える, 市町村児童福祉担当者・母子保健担当者合同研修会, 鹿児島県子ども家庭課, オンライン, 2023年2月20日
46. 若松美貴代. 後輩指導・助産師教育. 佐賀大学主催, 佐賀県助産師リカレント教育, 2023年7月 (オンデマンド)
47. 若松美貴代, 水野昌美. めぐみ保育園職員研修会, 事故防止や救命処置について. 2023年6月, 鹿児島市
48. 若松美貴代. アドバンス助産師研修会, コロナ後の助産ケアを再考する 今, あなたにできることは?. 鹿児島県看護協会, 2023年7月29日, 鹿児島市
49. 若松美貴代. 令和5年度 第1回スキル向上研修会 産前から産後の切れ目ない支援強化事業, 産婦健康診査におけるアセスメント技術と妊産婦のメンタルヘルスケアについて. 鹿児島県子ども家庭課, 2023年11月1日, 鹿児島市
50. 若松美貴代. 令和5年度新人助産師・潜在助産師合同研修会, 産褥期のメンタルヘルス. 鹿児島県看護協会, 2023年12月16日, 鹿児島市
51. 若松美貴代, 水野昌美. めぐみ保育園職員研修会 (小児の特徴・事故防止や救命処置について), 2023年6月 (鹿児島市)

(報道・その他)

1. 世界展開力強化事業 WG メンバー. 鹿児島大学医学部 大学の世界展開力強化事業クロージングフォーラム (国際会議開催), 2023年3月5日 (鹿児島市)
2. 沖利通 (インストラクター). 拡大する外来子宮鏡の世界 子宮鏡ハンズオンセミナー. 第75回日本産科婦人科学会, 2023年5月14日 (東京都)
3. 沖利通 (インストラクター). 子宮鏡ハンズオンセミナー (実技). 第6回日本子宮鏡研究会学術講演会, 2023年2月18日 (富山市)
4. 水野昌美. 座長, 第23回九州・沖縄小児看護教育研究会 (特別講演), 2023年8月 (鹿児島市)
5. 水野昌美. 特別支援学校の教員等におけるたんの吸引等の研修: 演習インストラクター, 2023年8月 (鹿児島市)
6. 鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課, 鹿児島大学医学部保健学科成育看護学講座, 「かごぶれホットライン」 オンライン相談支援事業2022年度鹿児島県ベスト育児制度賞受賞, イクハク運営事務局 (一般社団法人日本子育て制度機構), 2023年8月

### 〔地域包括看護学講座〕

#### 〔論文著書〕

(和文著書)

1. 宮田昌明. 温泉入浴と循環機能. 最新温泉医学 (日本温泉気候物理医学会編 日本温泉気候物理医学会, 東京) p132-136, 2023
2. 宮田昌明. 高血圧症. 最新温泉医学 (日本温泉気候物理医学会編 日本温泉気候物理医学会, 東京) p187-192, 2023
3. 益満智美, 宮田昌明. 最新温泉医学. V温泉療法に関するトピック. サウナ浴の効果と注意点 (一般社団法人 日本温泉気候物理医学会) p.355-358, 2023
4. 古島大資. 基礎看護学 (4): 看護研究 第4版 (前田ひとみ編 メディカ出版, 大阪) p.122-145, p.256-260, 2023
5. 柳川洋, 尾島俊之, 北村邦夫, 中村好一, 阿江竜介, 小佐見光樹, 近藤今子, 巽あさみ, 内藤智義, 中村美詠子, 原岡智子, 牧野伸子, 水田明子, 渡辺見紀. 保健指導ノート2024衆衛生の現状. (社)日本家族計画協会 東京. (担当: 生活習慣病), 2023

(英文論文)

1. Mori R, Miyata M, Kubozono T, Inadome N, Kawasoe S, Ojima S, Kawabata T, Salim AA, Miyahara H, Tokushige K, Ohishi M. Cutoff values of brachial-ankle pulse wave velocity for atherosclerotic risks by age and sex in the Japanese general population. J Atheroscler Thromb, 30(5): 481-490, 2023
2. Imamura S, Miyata M, Tagata K, Yokomine T, Ohmure K, Kawasoe M, Otsuji H, Chaen H, Oketani N, Ogawa M, Nakamura K, Yoshino S, Kakihana Y, Ohishi M. Prognostic predictors in patients with cardiopulmonary arrest: a novel equation for evaluating the 30-day mortality. J Cardiol. 82(2): 146-152, 2023
3. Kawabata T, Kubozono T, Ojima S, Kawasoe S, Akasaki Y, Salim AA, Ikeda Y, Miyata M, Takenaka T, Ohishi M. Insufficient blood



## 業績目録

- pressure control is independently associated with increased arterial stiffness. *Hypertens Res*, 45(12): 1861–1868, 2022
- Ojima S, Kubozono T, Kawasoe S, Kawabata T, Salim AA, Ikeda Y, Miyata M, Miyahara H, Tokushige K, Ohishi M. Clinical significance of atherosclerotic risk factors differs in early and advanced stages of plaque formation: a longitudinal study in the general population. *Int J Cardiol*. 379: 111–117, 2023
  - Yoshimoto I, Ichiki H, Miyata M, Kamada H, Ninomiya Y, Yoshimura A, Iriki Y, Okui H, Oketani N, Tajima A, Uchiyama Y, Hamamoto Y, Horioe Y, Maenosono R, Ikeda Y, Ohishi M. Cardio-ankle vascular index and left atrial reverse remodeling after ablation for atrial fibrillation. *Int Heart J*. 64(4): 623–631, 2023
  - Salim AA, Kawasoe S, Kubozono T, Ojima S, Kawabata T, Hashiguchi H, Ikeda Y, Miyata M, Miyahara H, Tokushige K, Nishio Y, Ohishi M. Development of predictive equation and score for 5-year metabolic syndrome incidence in Japanese adults. *PLoS One*. 18(4): e0284139, 2023
  - Fu W, Liu H, Wei P, Xia C, Yu Q, Tian K, Li Y, Liu E, Xu B, Miyata M, Wang R, Zhao S. Genetic deficiency of protein inhibitor of activated STAT3 suppresses experimental abdominal aortic aneurysms. *Front Cardiovasc Med*. 10: 1092555, 2023
  - Li Y, Zheng X, Guo J, Samura M, Ge Y, Zhao S, Li G, Chen X, Shoji T, Ikezoe T, Miyata M, Xu B, Dalman RL. Treatment with small molecule inhibitors of advanced glycation end-products formation and advanced glycation end-products-mediated collagen cross-linking promotes experimental aortic aneurysm progression in diabetic mice. *J Am Heart Assoc*. 12(10): e028081, 2023
  - Yuriko Ikeda, Takayuki Tabira, Tadasu Ohsige, Tomomi Masumitsu, Hyuma Makizako and KU-OHL Project member. Association between Sleep Onset Problem and Subjective Cognitive Complaints among Japanese Older Adults during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic. *Int. J. Environ. Res. Public Health*, 20(1): 156, 2023
  - Nishimoto D, Kodama S, Shimoshikiryo I, Ibusuki R, Nerome Y, Takezaki T, Nishio I. Association Between Nursing Discussions, Resilience, Workplace Social Support and Burnout: A Quantitative Study in Japan. *Yonago Acta Medica*, 66(3): 355–364, 2023
  - Kodama S, Uwatoko F, Koriyama C. Relationship between changes in the public health nurses' workforce and the empirical Bayes estimates of standardized mortality ratio: a longitudinal ecological study of municipalities in Japan. *BMC Health Services Research*, 23(1): 266, 2023
  - Masaaki Murakami, Daisuke Furushima, Shingo Hamamoto, Hiroshi Yamada, Takao Okawa, Satoshi Tanaka, Kojiro Nagai. Comparison of peripheral cutting balloon angioplasty with conventional balloon angioplasty for recurrent hemodialysis vascular access stenosis: A prospective randomized controlled trial. *The journal of vascular access* 23: 1297298231209489, 2023
  - Hiroko Iwasaki-Hozumi, Yosuke Maeda, Toshiro Niki, Haorile Chagan-Yasutan, Gaowa Bai, Takashi Matsuba, Daisuke Furushima, Yugo Ashino, Toshio Hattori. Plasma N-Cleaved Galectin-9 Is a Surrogate Marker for Determining the Severity of COVID-19 and Monitoring the Therapeutic Effects of Tocilizumab. *International journal of molecular sciences*: 24(4), 2023
  - Saori Abe, Ryo Onoda, Daisuke Furushima, Hiroshi Yamada, Yoshihiro Tamura, Kazutoshi Sayama. Detection of CCL25 and the correlation between CCL25, CCL28, IL-7, and TSLP in human breast milk. *Journal of reproductive immunology* 155 103783–103783, 2023

### (和文論文)

- 宮田昌明, 益満智美, 和田麗, 竹ノ内千紗, 津曲真二, 窪菌琢郎, 大石充. 地域住民健診コホートの高齢者における入浴習慣と健康長寿との探索的研究. *日本健康開発雑誌*. 44: 69–74, 2023
- 宮田昌明. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版改訂のポイント. *鹿児島県内科医会報*. 54: 32–35, 2023
- 大牟禮健太, 大石充, 宮田昌明. 冠動脈疾患の既往があり治療抵抗性高血圧を呈した症例. *動脈硬化 Q & A*. 日本動脈硬化学会, 2023年8月
- 服部朝代, 平松悦子, 山下亜矢子. 長期隔離処遇患者の行動制限最小化に向けた多職種間における看護師の役割. *川崎医療福祉学会誌* 32 (2): 417–425, 2023
- 久松美佐子, 山下亜矢子, 根路銘安仁, 末永真由美. 精神科病院のない離島の精神障害者の地域定着を支える訪問看護師の取り組み. *社会医学研究* 40 (1): 5–18, 2023
- 田原里奈, 川内美千代, 栗木聖子, 泊加奈美, 山下亜矢子. 脳死肝移植待機患者に対する看護実践と多職種連携に関する事例研究. *日本看護学会誌* 18 (1): 216–219, 2023
- 廣瀬彩音, 佐々木八千代, 秋山庸子, 他. 施設入所高齢者の車椅子からベッドへの移乗 動作の特徴. *日本健康医学会雑誌* 31 (4) : 501–506, 2023
- 古島大資, 立山未来, 千葉剛, 石川祥子, 蘭島朝美, 萩原美紀, 松谷茉依, 豊倉世梨佳. 健康食品に関する市町村保健師の認

## 業績目録

識と特定保健指導時の健康食品情報の利活用の実態について. 食品衛生学雑誌64(5): 167-173, 2023

9. 中村洗友, 赤澤壮太, 櫻井護, 古島大資, 牧之瀬翔平, 富永健一郎, 天野進吾, 山田浩. 健康食品利用者からの安全性情報に対する情報ツールを用いた対応: 保険薬局における探索的実態調査. 臨床薬理54(6) 239-244, 2023.

### 【学会発表】

(国際学会)

1. Miyata M. Invited lecture: Activated macrophages as therapeutic and diagnostic targets in atherosclerosis. International symposium of cardiovascular diseases 2023 in Shenyang Medical College, 2023年7月 (China, Web 発表)
2. Tajima A, Yoshimoto I, Hamamoto Y, Ichiki H, Ninomiya Y, Kamada H, Iriki Y, Horizoe Y, Ikeda Y, Miyata M., Ohishi M. Association between left atrial strain and peri-operative stroke in catheter ablation for atrial fibrillation. ESC Congress 2023年8月 (Amsterdam, Netherlands)
3. Hisamatsu M, Yamashita A., Suenaga M, Arai H. Understanding of Psychiatric Nurses of The Difficulties of People with Mental Disorders Living in Remote Islands without Psychiatric Hospitals, 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年3月 (Tokyo, WEB 開催)
4. Yamashita A., Yoshioka S, Yajima Y. Resilience and related factors as predictors of relapse risk in patients with substance use disorder: a cross-sectional study. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年3月 (Tokyo, WEB 開催)
5. Yamashita A., Okazaki Y, Kajitani S, Hara N. Awareness of stress among senior high school students in Japan: in relation to their internet usage time and sleep duration: 29th International Council of Nurses Congress, 2023年7月 (Montreal, Canada)
6. Yachiyo Sasaki. Kanna Furuta, Saori Noda, et al.. Factors associated with development of locomotive syndrome for community-dwelling elderly people in Japan during COVID-19 pandemic. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年3月 (Tokyo, JAPAN)
7. Kanna Furuta, Yachiyo Sasaki. Saori Noda, et al.. Changes in Frequency of Outings of Community-dwelling Elderly People and Related Factors Due to the COVID-19 Pandemic. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2023年3月 (Tokyo, JAPAN)
8. MASUMITSU Tomomi., YAMASHITA Ayako., IKEDA Yuriko, TABIRA Takayuki, OHSHIGE Tadasu, MAKIZAKO Hyuma. Association between bathing and sleep quality among Japanese old adults. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), 2023年3月 (東京)
9. Daisaku Nishimoto, Shimpei Kodama., Yusaku Uemura, Fumiko Iiyama, Ikuko Nishio. Mental health characteristics of healthcare assistants working in support facilities for persons with disabilities eight months after COVID-19 clusters. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2023年3月 (Tokyo, WEB 配信)
10. Daisaku Nishimoto, Shimpei Kodama., Chiemi Nishimoto, Keiko Kubota, Asutsugu Kurono, Ikuko Nishio. Characteristics of health awareness, lifestyle habits, resilience and burnout without specific health re-guidance. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2023年3月 (Tokyo, WEB 配信)
11. Nobuhiko Yanagida, Daisaku Nishimoto, Takaaki Suenaga, Gou Yoshihara, Shimpei Kodama. Ikuko Nishio. Pilot study on the association between clinical nurses' resilience and burnout and physiological indicators. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2023年3月 (Tokyo, WEB 配信)

(国内学会)

1. Tajima A, Yoshimoto I, Hamamoto Y, Ichiki H, Kamada H, Ninomiya Y, Uchiyama Y, Horizoe Y, Yasuda H, Ikeda Y, Miyata M., Ohishi M. Association between left atrial strain and peri-operative cerebral thromboembolism in catheter ablation for atrial fibrillation. 第87回日本循環器学会学術集会, 2023年3月 (福岡)
2. 宮田昌明. パネルディスカッション2. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022年版を識る. 脳血管疾患・冠動脈疾患. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月 (鹿児島市)
3. 宮田昌明. デイバートセッション2. 高齢冠動脈疾患患者のコレステロール目標値 The lower, the better? Yes vs No. 高齢者における高コレステロール血症治療の注意点と課題. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月 (鹿児島市)
4. 宮田昌明. ランチョン3. 高血圧診療の課題とその解決方法. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月 (鹿児島市)
5. 益満智美. 宮田昌明. 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 川添 晋, 窪蘭拓郎, 竹中俊宏, 大石 充. 地域在住高齢者の睡眠時間と質における血清脂質値と血糖値との関連. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月 (鹿児島市)
6. 森 隆子, 宮田昌明. 窪蘭琢郎, 稲留直子, 川添 晋, 小島聡子, 宮原広典, 徳重浩一, 大石 充. 大規模健診データを用いた脂質に関する性・年代別検討. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月 (鹿児島市)
7. 小島聡子, 窪蘭琢郎, 川添 晋, 川畑孟子, Anwar Ahmed Salim, 池田義之, 宮田昌明. 宮原広典, 徳重浩一, 大石 充. 頸動

## 業 績 目 録

- 脈プラークの進行に関連する動脈硬化の危険因子の検討：一般住民を対象とした縦断研究. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月 (鹿児島市)
8. 宮田昌明. 会長特別企画「和温療法の現状と今後の課題」和温療法の効果発現機序. 第71回 日本心臓病学会学術集会, 2023年9月 (東京)
  9. 湯田智恵子, 中内陽子, 藤田京子, 井手迫和美, 東祐子, 田中久美子, 梅木みなみ, 宮田昌明. インフォームドコンセントに関わる外来看護師のジレンマの検討. 日本緩和医療学会第5回九州支部学術大会, 2023年11月 (鹿児島市)
  10. 梶谷さとこ, 岡崎愉加, 山下亜矢子, 原直美. 月経に関する健康教育リーフレットの高校生による評価. 第64回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2023年10月 (大阪)
  11. 山下亜矢子, 鈴木千絵子, 中嶋貴子, 押目百世. 被災地の住民における災害後のアルコール関連問題：スコアリングレビュー. 2023年度アルコール・薬物依存関連学会 合同学術総会, 2023年10月 (岡山)
  12. 久松美佐子, 山下亜矢子. 離島で生活を持続している精神障害者をもつ人の生活の特徴. 第43回日本看護科学学会学術集会, 2023年12月 (山口)
  13. 中嶋貴子, 山下亜矢子. 精神看護領域の当事者参加授業における教育・評価方法に関する文献レビュー. 第43回日本看護科学学会学術集会, 2023年12月 (山口)
  14. 小西円, 佐々木八千代, 古田葉菜, 他. 施設入所高齢者の居室移動前後における睡眠の実態. 第32回日本健康医学会総会, 2023年11月 (大阪)
  15. 佐々木八千代, 益満智美, 秋山庸子, 他. 離島で生活する地域在住高齢者の ICT 利活用の実態. 第32回日本健康医学会総会, 2023年11月 (大阪)
  16. 西本大策, 兒玉慎平, 西尾育子, KU-OHL project team. COVID-19禍における自己申告の生活習慣改善と習慣的運動との関連. 第43回日本看護科学学会学術集会, 2023年12月 (山口)
  17. 井上翔太, 山下夏紀, 播磨優花, 市成奈緒, 長野尚美, 奥加奈, 塗木さゆり, 兒玉慎平. 血液疾患を持つ AYA 世代患者に関わる同世代看護師が抱える困難感の検討. 日本緩和医療学会第5回九州支部学術大会, 2023年11月 (鹿児島市)
  18. 日隈利香. 東日本大震災3県 (岩手県, 宮城県, 福島県) の児童発達支援・放課後等デイサービス施設における災害への取り組みに関する研究. 日本社会福祉学会第71回秋季大会, 2023年10月 (東京)
  19. 日隈利香. 東日本大震災3県 (岩手県, 宮城県, 福島県) の児童発達支援・放課後等デイサービス施設職員が求める防災研修. 日本発達障害学会第58回研究大会, 2023年11月 (京都)
  20. 石川祥子, 千葉剛, 古島大資. 健康食品に関する市町村保健師の認識と特定保健指導時の健康食品情報の利活用の実態. 第82回日本公衆衛生学会総会, 2023年11月 (茨城)
  21. 蒔田篤則, 古島大資, 辻大樹, 渡邊慎也, 山田浩. 離散事象シミュレーションを活用した薬局薬剤師業務の最適化の検討. 第25回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 2023年6月 (京都)
  22. 水田明子, 斎藤民, 尾島俊之, 近藤克則. 外出好き/家好きで介護開始後の主感的健康感悪化リスクは異なるか?. 第33回日本疫学会学術総会, 2023年2月 (浜松)

### 【講演】

1. 宮田昌明. 温泉の医学的効用とヘルスプロモーションへの活用. かがしま Tech ミーティング, 2023年1月 (鹿児島市)
2. 宮田昌明. 心不全増悪予防の生活習慣と保健指導. 日本循環器病予防学会主催保健指導レベルアップセミナー, 2023年1月 (Web 配信)
3. 宮田昌明. 事例検討. 日本循環器病予防学会主催保健指導レベルアップセミナー, 2023年1月 (Web 配信)
4. 宮田昌明. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン改訂のポイント：糖尿病患者の位置づけも含めて. DUAL Seminar in Kagoshima, 2023年2月 (鹿児島市, Web 配信)
5. 宮田昌明. 生活習慣病の予防からみた健康長寿の秘訣. 鹿児島商工会議所商業部会4月委員研修会, 2023年4月 (鹿児島市)
6. 宮田昌明. 心不全患者の看護のポイント. 令和5年第2回大進会研修会, 2023年4月 (始良市)
7. 宮田昌明. 温熱刺激の心臓と血管への作用：和温療法. 第17回宮崎心臓リハビリテーションセミナー, 2023年6月 (宮崎)
8. 宮田昌明. 動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症管理. Up-to-dat. 特命講師フォローアップ研修会, 2023年9月 (東京)
9. 宮田昌明. 日常診療における脂質異常症の勘所. 鹿児島県内科医会 WEB 講座, 2023年10月 (Web 配信)
10. 宮田昌明. 脂質異常症の栄養・食事指導. 循環器病予防療養指導士単位認定セミナー, 2023年10月 (Web 配信)
11. 宮田昌明. 心電図・不整脈 (1). 令和5年第5回大進会研修会, 2023年4月 (始良市)

## 業 績 目 録

12. 宮田昌明. 動脈硬化性予防のための基礎知識. 日本動脈硬化学会 第13回市民公開講座, 2023年11月 (鹿児島市)
13. 宮田昌明. 冬場に備えた安全な入浴方法. 日本温泉気候物理医学会市民公開講座, 2023年12月 (Web 配信)
14. 宮田昌明. 心不全予防と再入院予防を見据えた患者管理. 患者の QOL を考える会: 診療科の垣根を越えて, 2023年12月 (鹿児島)
15. 宮田昌明. 心電図・不整脈 (2). 令和5年第6回大進会研修会, 2023年12月 (始良市)
16. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 支部研修会 看護研究研修会① 講師, 2023年5月 (WEB 開催)
17. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 支部研修会 看護研究研修会② 講師, 2023年7月 (WEB 開催)
18. 佐々木八千代. 高齢者の健康づくり～脳卒中の予防～. 和泊町長寿クラブ連合会全体交流会, 2023年1月 (和泊町)
19. 佐々木八千代. 実習指導方法論 (老年看護). 公益社団法人鹿児島県看護協会 令和5年度実習指導者講習会, 2023年12月 (鹿児島市)
20. 兒玉慎平. 看護研究における基礎的知識～看護研究のまとめ方の実際 (記載のルール) ～. 鹿児島県訪問看護ステーション協議会第23回研究発表会, 2023年2月 (鹿児島市)
21. 兒玉慎平. 文献検索演習: 文献検索完全マスター実践編. 鹿児島大学病院看護部令和5年度看護研究研修, 2023年8月 (鹿児島市)
22. 兒玉慎平. レポートの書き方. 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習, 2023年8月 (鹿児島市)
23. 石川祥子. 保護者の子育て・発達支援講演会. 社会福祉法人慈孝会, 2023年7月 (鹿児島市)
24. 石川祥子. 保護者支援のための講演会. 特定非営利活動法人たけのこキッズ児童発達支援センター, 2023年9月 (鹿児島市)
25. 水田明子. 公衆衛生看護学推論. 聖隷クリストファー大学非常勤講師, 2023年10月12日 (鹿児島市, 遠隔) 30日 (浜松)
26. 水田明子, 高田千春, 當山裕子, 前田慶太, 吉住嘉代子, 尾島俊之. 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会, ワークショップ世話人 (小倉)

### 【その他】

(報告書等)

1. 宮田昌明. 生活習慣病. MBC ラジオ ここが聞きたい! ドクタートーク. 2023年4月1日, 8日, 15日, 22日, 29日放送
2. 宮田昌明. サウナー必見! サウナのメリット, デメリットとは. サワイ健康推進課. <https://kenko.sawai.co.jp/healthy/202307.html>
3. 佐々木八千代, 古田葉菜, 益満智美, 他. COVID-19パンデミックにおける地域在住高齢者の健康と生活に関する研究. 大阪ガスグループ福祉財団調査・研究報告書, 36: 81-88, 2023
4. 日隈利香. 鹿児島大学地域防災教育研究センター 令和4年度事業報告書. 鹿児島大学地域防災教育研究センター, 2023: 82.

(座長等)

1. 宮田昌明. 第23回動脈硬化教育フォーラム, 2023年2月 (Web 発信)
2. 宮田昌明. 第87回日本循環器学会学術集会, 2023年3月 (福岡)
3. 宮田昌明. 第88回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 2023年5月 (大分)
4. 宮田昌明. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月 (鹿児島市)
5. 宮田昌明. 第134回日本循環器学会九州地方会, 2023年6月 (熊本)
6. 宮田昌明. 第55回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2023年7月 (栃木)
7. 宮田昌明. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023年7月 (神奈川)
8. 宮田昌明. 第27回日本心不全学会学術集会, 2023年10月 (神奈川)
9. 宮田昌明. 第9回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会, 2023年10月 (福岡)
10. 宮田昌明. 日本緩和医療学会第5回九州支部学術大会, 2023年11月 (鹿児島市)
11. 宮田昌明. 第2回和温療法学会, 2023年11月 (東京)
12. 宮田昌明. 第135回日本循環器学会九州地方会, 2023年12月 (福岡)
13. 山下亜矢子. 日本フォレンジック看護学会 第10回学術集会, 講演Ⅲ「性暴力サバイバーが産産するとき」, 2023年8月 (和歌山)
14. 太田順一郎, 山下亜矢子. 2023年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会, 市民公開講座「当事者からのメッセージとディスカッション」, 2023年10月 (岡山)
15. 山下亜矢子. 第一三共株式会社 Web セミナー, 働く世代の片頭痛を考える, 特別講演 I 「片頭痛治療, 私たちだからできる事

## 業 績 目 録

～看護師の立場からの聞き取りの工夫と情報提供～(Web 発信)

16. 佐々木八千代. 第32回日本健康医学会総会, 一般演題発表 午前の部 A 会場, 2023年11月 (大阪)
17. 水田明子. 第33回日本疫学会学術総会, 実行委員 (浜松)

(研修会等)

1. 宮田昌明. 循環器疾患. 日本温泉気候物理医学会温泉療法医講習会, 2023年5月 (大分)
2. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 支部研修会 看護研究発表会 講師, 2023年10月 (WEB 開催)
3. 山下亜矢子. 鹿児島大学病院看護部, 新人基礎研修「ストレスマネジメント」, 2023年5月 (鹿児島市)
4. 山下亜矢子. 放送大学, 所属学生に対する卒業研究指導, 2023年4月より毎月
5. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 研究論文査読, 2023年9月
6. 山下亜矢子. 鹿児島市医師会病院看護研究指導, 2023年1月より毎月
7. 山下亜矢子. 押目百世. 鹿児島大学病院看護部看護研究指導, 2023年1月より3月
8. 山下亜矢子. 鹿児島大学病院看護部令和5年度看護研究セミナー研究方法①～質的研究～ 講師, 2023年9月
9. 山下亜矢子. 岡山県西備支援学校備西ブロック保健委員研修会「悩み・ストレスについて」講師, 2023年7月 (WEB 開催)
10. 山下亜矢子. 鹿児島県立始良病院看護研究指導, 2023年6月
11. 佐々木八千代. Geriatrics & Gerontology International 原稿査読, 2023
12. 佐々木八千代. 鹿児島大学病院看護学部令和5年度看護研究セミナー研究方法②～量的研究～ 講師, 2023年10月
13. 兒玉慎平. 鹿児島農村医学研究会第54回中央研究集会, 2023年8月 (鹿児島市)
14. 古島大資. 鹿児島大学病院看護部令和5年度看護研究セミナー研究方法～リサーチクエストの立て方～ 講師, 2023年7月
15. 古島大資. 第44回日本看護科学学会学術集会企画委員
16. 益満智美. 喀痰吸引等研修 (第三号研修: 特定の者対象), 2023年1月 (鹿児島市)
17. 益満智美. 喀痰吸引等研修 (第三号研修: 特定の者対象), 2023年6月 (鹿児島市)
18. 益満智美. 喀痰吸引等研修 (第三号研修: 特定の者対象), 2023年8月 (奄美市)
19. 益満智美. 令和5年度特別支援学校の教員等によるたんの吸引等の研修 (特定の者対象), 2023年8月 (鹿児島市)
20. 益満智美. 公益社団法人 鹿児島県看護協会 第57回鹿児島県看護研究学会, 演題査読, 2022年9月
21. 益満智美. 日本緩和医療学会 第5回九州支部学術集会事務局, 2022年11月 (鹿児島市)
22. 石川祥子. 鹿児島市新任期保健師育成トレーナー, 2023年5月7月9月11月 (鹿児島市)
23. 水田明子. Industrial Health 原稿査読, 2023
24. 水田明子. 令和5年度鹿児島市看護職員確保対策検討委員会, 2023年2月3日 (鹿児島市)
25. 水田明子. 李慧瑛, 松田史代, 高田千春, 吉住嘉代子, 田畑千穂子, 二之宮美由紀, 土岐篤史. 在住外国人のための専門相談会&子育て交流会. かがしま国際交流センター, 2023年3月19日 (鹿児島市)
26. 水田明子. 第65回鹿児島県公衆衛生学会発表審査委員, 2023年5月16日 (鹿児島市)
27. 水田明子. てらの保健室. 妙行寺, 2023年7月22日 (鹿児島市)
28. 水田明子. 令和5年度認定看護管理者ファーストレベル教育 ヘルスケアシステム論 I 社会保障制度概論. 鹿児島県看護協会, 2023年8月18日 (鹿児島市)
29. 水田明子. くらしの保健室 (鹿児島市女性のつながりサポート事業). かがしま国際交流センター, 2023年8月12日 (鹿児島市)
30. 水田明子. 令和4年度実習指導者講習会 看護教育課程保健師 鹿児島県看護協会, 2023年9月8日 (鹿児島市)
31. 水田明子. 令和5年度年度地域保健従事者現任教育推進事業における新任期保健師の臨地研修報告会助言者
32. 水田明子. 令和5年度鹿児島県在宅医療・介護連携推進協議会委員, 2023年11月31日 (鹿児島市)
33. 水田明子. 一般社団法人日本家族計画協会 令和5年度公衆衛生委員会編集委員
34. 水田明子. 文部科学省研究振興局 令和5年度科学研究費助成事業 学術改革領域研究 (A) 専門委員会委員
35. 水田明子. 令和5年度認定看護管理者ファーストレベル教育 ヘルスケアシステム論1 教科目レポート出題評価
36. 水田明子. 一般社団法人全国保健師教育機関協議会機関紙 保健師教育査読委員

## 〔理学療法学専攻〕

## 【論文著書】

(和文著書)

1. 岡本裕嗣. ミトコンドリア病診療マニュアル2023. CPEO/KSS (日本ミトコンドリア学会 編, 診断と治療社, 東京) pp174-178, pp186-189, 2023.
2. 岡本裕嗣. ミトコンドリア病診療マニュアル2023. ミトコンドリアニューロパシー. (日本ミトコンドリア学会 編, 診断と治療社, 東京) pp240-241, pp247-248, 2023.
3. 牧迫飛雄馬. 18部 転倒予防のための杖・歩行補助具 2 患者・家族・一般市民への教育・啓発. 転倒予防白書2023 (武藤芳照, 鈴木みずえ, 萩野浩, 大高洋平・編, 日本医事新報社, 東京) p.332-336, 2023.
4. 牧迫飛雄馬. II 部 検査・測定の実際 36 フレイル. 図解 理学療法検査・測定ガイド 第3版 (内山靖・編, 文光堂, 東京) p.460-470, 2023.
5. 白土大成, 由利拓真, 爲國友梨香. Part 3 Chapter2 働く人の「生産性」と「エンゲージメント」働く人と「ともに創る」作業療法 (元廣惇, 藤井寛幸 編, クリエイツかもがわ, 京都) p.116-125, 2023

(英文論文)

1. Okamoto Y, Takashima H. The Current State of Charcot-Marie-Tooth Disease. *Genes (Basel)*. 14(7): 1391. 2023.
2. Higuchi Y, Ando M, Kojima F, Yuan JH, Hashiguchi A, Yoshimura A, Hiramatsu Y, Nozuma S, Fukumura S, Yahikozawa H, Abe E, Toyoshima I, Sugawara M, Okamoto Y, Matsuura E, Takashima H. Dystonia and Parkinsonism in COA7-related disorders: expanding the phenotypic spectrum. *J Neurol. On line ahead*. 2023.
3. Ando M, Higuchi Y, Yuan JH, Yoshimura A, Dozono M, Hobar T, Kojima F, Noguchi Y, Takeuchi M, Takei J, Hiramatsu Y, Nozuma S, Nakamura T, Sakiyama Y, Hashiguchi A, Matsuura E, Okamoto Y, Sone J, Takashima H. Clinical phenotypic diversity of NOTCH2NLC-related disease in the largest case series of inherited peripheral neuropathy in Japan. *J Neurol Neurosurg Psychiatry*. 2023 Aug; 94(8): 622-630.
4. Ando M, Higuchi Y, Yuan J, Yoshimura A, Kojima F, Yamanishi Y, Aso Y, Izumi K, Imada M, Maki Y, Nakagawa H, Hobar T, Noguchi Y, Takei J, Hiramatsu Y, Nozuma S, Sakiyama Y, Hashiguchi A, Matsuura E, Okamoto Y, Takashima H. Clinical variability associated with intronic FGF14 GAA repeat expansion in Japan. *Ann Clin Transl Neurol*. 2023. Online ahead of print.
5. Kawamura H, Imuta N, Ooka T, Shigemi A, Nakamura M, Mougi K, Obama Y, Fukuyama R, Arimura S, Murata N, Tominaga H, Sasaki H, Nagano S, Taniguchi N, Nishi J. Impact of control measures including decolonization and hand hygiene for orthopaedic surgical site infection caused by MRSA at a Japanese tertiary-care hospital. *J Hosp Infect*. S0195-6701(23)00240-2. 2023
6. Kiuchi Y, Tsutsumimoto K, Nishimoto K, Misu Y, Ohata T, Makizako H, Shimada H. Association between dietary diversity and chronic kidney disease in community-dwelling older adults. *European Geriatric Medicine* 2023, in press.
7. Kiuchi Y, Doi T, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Kurita S, Nishimoto K, Makizako H, Shimada H. Association between dietary diversity and cognitive impairment in community-dwelling older adults. *Geriatr Gerontol Int*, in press.
8. Kiuchi Y, Tsutsumimoto K, Doi T, Kurita S, Nishimoto K, Makizako H, Shimada H. Effect of dietary diversity on incident of disability in community-dwelling older adults with sarcopenia: A 40-month follow-up longitudinal study. *Maturitas* 2023, in press.
9. Makino K, Raina P, Griffith LE, Lee S, Harada K, Chiba I, Katayama O, Tomida K, Morikawa M, Makizako H, Shimada H. Physical frailty and survival time after the onset of functional disability: Is there a sex difference? *J Am Geriatr Soc* 2023, in press.
10. Shiratsuchi D, Makizako H, Tateishi M, Akaida S, Tagata C, Kobayashi M, Takihara T. Association between muscle weakness and cap-grasping patterns when opening plastic bottles in community-dwelling older adults. *Geriatr Gerontol Int*. 23(10): 758-760, 2023.
11. Ikeda Y, Tabira T, Oshige T, Masumitsu T, Makizako H, KU-OHL Projectmember. Association between Sleep Onset Problem and Subjective Cognitive Complaints among Japanese Older Adults during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic. *Int J Environ Res Public Health*, 20(1), 156, 2023.
12. Araki S, Kiyama R, Nakai Y, Kawada M, Takeshita Y, Makizako H. Sex differences in age-related differences in joint motion during gait in community-dwelling middle-age and older individuals. *Gait Posture*, 103: 153-158, 2023.
13. Muto K, Shiratsuchi D, Nanbu K, Sakamoto H, Furuya N, Nakamura K, Mitani Y, Tsujita N, Makizako H. Ability to walk 10 m within the

## 業 績 目 録

- first week of stroke predicts independent outdoor walking and destination. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 32(8): 107145, 2023.
14. Maruta M, Tabira T, Shimokihara S, [Makizako H](#), Ikeda Y, Han G, Akasaki Y, Hidaka Y, Nakahara R, Kamasaki T, Kukizaki W, Kubozono T, Ohishi M. Changes in satisfaction with meaningful activities and onset of depressive symptoms among community-dwelling Japanese older adults: A population-based study before and during the COVID-19 pandemic. *J Am Med Dir Assoc*, 24(5): 702–709, 2023.
  15. Maki Y, Morita A, [Makizako H](#). Association between the Cognitive-related Behavioral Assessment Severity Stage and Activities of Daily Living Required for Discharge to Home in Patients with Stroke: A Cross-Sectional Study. *Int J Environ Res Public Health*, 20(4): 3005, 2023.
  16. Hidaka Y, Tabira T, Maruta M, [Makizako H](#), Ikeda Y, Nakamura A, Han G, Miyata H, Shimokihara S, Akasaki Y, Kamasaki T, Kubozono T, Ohishi M. Relationship between grave visitation and apathy among community-dwelling older adults. *Psychogeriatrics*, 23(3): 401–410, 2023.
  17. Akaida S, Tabira T, Nakai Y, Maruta M, Taniguchi Y, Tomioka K, Sato N, Wada A, [Makizako H](#). Are satisfaction and performance of meaningful activities associated with comprehensive frailty in older adults? *Arch Gerontol Geriatr*, 105: 104845, 2023.
  18. Okamae A, Ogawa T, [Makizako H](#), Matsumoto D, Ishigaki T, Kamiya M, Miyashita T, Ihira H, Taniguchi Y, Misu S, Ohnuma T, Chibana T, Morikawa N, Ikezoe T. Efficacy of therapeutic exercise on activities of daily living and cognitive function among older residents in long-term care facilities: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. *Arch Phys Med Rehabil*, 04(5): 812–823, 2023.
  19. Kamiya M, Ihira H, Taniguchi Y, Matsumoto D, Ishigaki T, Okamae A, Ogawa T, Misu S, Miyashita T, Ohnuma T, Chibana T, Morikawa N, Ikezoe T, [Makizako H](#). Low-intensity resistance training to improve knee extension strength in community-dwelling older adults: systematic review and meta-analysis of randomized controlled studies. *Exp Gerontol*, 172: 112041, 2023.
  20. Kikuchi K, Otsuka S, Takada S, [Nakanishi K](#), Setoyama K, [Sakakima H](#), Tanaka E, Maruyama I. 1,5-anhydro-D-fructose induces anti-aging effects on aging-associated brain diseases by increasing 5<sup>+</sup>-adenosine monophosphate-activated protein kinase activity via the peroxisome proliferator-activated receptor- $\gamma$  co-activator-1 $\alpha$ /brain-derived neurotrophic factor pathway. *Aging (Albany NY)*. 2023 Nov 9; 15(21): 11740–11763. doi: 10.18632/aging.205228. Epub 2023 Nov 9.
  21. Norimatsu K, [Nakanishi K](#), Ijuin T, Otsuka S, Takada S, Tani A, Matsuzaki R, Matsuoka T, [Sakakima H](#). Effects of low-intensity exercise on spontaneously developed knee osteoarthritis in male senescence-accelerated mouse prone 8. *Arthritis Res Ther*. 2023 Sep 14;25(1): 168. doi: 10.1186/s13075-023-03162-z.
  22. [Nakanishi K](#), Norimatsu K, Tani A, Matsuoka T, Matsuzaki R, Kakimoto S, Nojima N, Tachibe Y, Kato Y, Inadome M, Kitazato R, Otsuka S, Takada S, Sumizono M, [Sakakima H](#). Effects of early exercise intervention and exercise cessation on neuronal loss and neuroinflammation in a senescence-accelerated mouse prone 8. *Neurosci Lett*. 2023 Jun 21; 808: 137297. doi: 10.1016/j.neulet.2023.137297. Epub 2023 May 12.
  23. Otsuka S, Itashiki Y, Tani A, Matsuoka T, Takada S, Matsuzaki R, [Nakanishi K](#), Norimatsu K, Tachibe Y, Kitazato R, Nojima N, Kakimoto S, Kikuchi K, Maruyama I, [Sakakima H](#). Effects of different remote ischemia preconditioning methods on cerebral infarct volume and neurological impairment in rats. *Sci Rep*. 2023 Feb 7; 13(1): 2158. doi: 10.1038/s41598-023-29475-2.
  24. Kento Tabira, [Akihiko Ohwatashi](#). Empirical study on the effectiveness of online groups using a mobile health application for middle-aged and older adults to continue exercising. *Journal of the physical Therapy Science* , Vol.35(5): 346–350, 2023. doi: 10.1589/jpts.35.346
  25. Miyazaki T, Takeshita Y, Shimose D, Kakimoto S, Araki S, Matsuzawa Y, Nakashima S, Nakai Y, [Kawada M](#), [Kiyama R](#). Immediate effects of real-time feedback during overground gait performed using inertial measurement units on gait parameters in healthy young participants: A cross-sectional study. *Motor Control*, 27(4): 844–859, 2023
  26. Nakai Y, Oe K, Matsuno R, [Kiyama R](#), [Kawada M](#), Takeshita Y, Miyazaki T, Araki S, Effect of self-myofascial release of the lower back on myofascial gliding, lumbar flexibility, and abdominal trunk muscle strength: A crossover study. *Sports*, 11(8): 147, 2023
  27. Nakai Y, Kijimuta T, Takeshita Y, [Kiyama R](#), Araki S, Miyazaki T, [Kawada M](#). Effects of external abdominal pressure support on dynamic balance: A randomized crossover study. *Sports*, 11(11): 217, 2023
  28. Takahiro Tsuge, Norio Yamamoto, Shunsuke Taito, Takanori Miura, [Daijo Shiratsuchi](#), Takashi Yorifuji. Efficacy of telerehabilitation for patients after hip fracture surgery: A systematic review and meta-analysis. *J Telemed Telecare*, 7: 1357633X231181632, 2023
  29. [Daijo Shiratsuchi](#), [Hyuma Makizako](#), Mana Tateishi, Shoma Akaida, Chika Tagata, Makoto Kobayashi, Takanobu Takihara. Association between muscle weakness and cap-grasping patterns when opening plastic bottles in community-dwelling older adults. *Geriatr Gerontol Int*, 23(10): 758–760, 2023
  30. Norio Yamamoto, Shunsuke Taito, Takanori Miura, Takashi Ariie, Yosuke Tomita, Hirofumi Ogihara, [Daijo Shiratsuchi](#), Takashi Yorifuji,

## 業績目録

Yasushi Tsujimoto. Epidemiology and reporting characteristics of systematic re-views in orthopedic journals: A meta-epidemiological study. Journal of Clinical Medicine, 12(22): 7031, 2023

(和文論文)

1. 澤園啓明, 篠原直弘, 増田裕介, 西川拓朗, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇. 骨腫瘍との鑑別が困難であった小児壊血病の一例. 整形外科と災害外科, 72巻2号 Page228-231, 2023
2. 尾川達也, 合田秀人, 石垣智也, 齋藤崇志, 脇田正徳, 杉田翔, 牧迫飛雄馬, 池添冬芽. 地域理学療法におけるアウトカム評価指標の使用状況と必要条件および障壁—日本地域理学療法学会会員を対象とした web アンケート調査—. 地域理学療法学, 2巻, p.39-51, 2023.
3. 坂本勇斗, 白土大成, 牧迫飛雄馬. 脳腫瘍患者に対する Wii® の介入効果—スコピングレビュー—. 保健医療学雑誌, 14巻1号, p.45-52, 2023.
4. 牧迫飛雄馬. こころのゆとり. 日本予防理学療法学会雑誌, 3巻1号 p.1, 2023.
5. 牧迫飛雄馬. 生活場面における身体活動量測定の意義と運動指導の要点. 理学療法4 vol. 4, No. 4, pp. 292-299, 2023.
6. 白土大成, 立石麻奈, 牧迫飛雄馬. COVID-19とフレイルの実際—フレイルの社会的側面—. 日本老年医学会雑誌, 第60号2巻, pp.127-134, 2023.
7. 中島将武, 川田将之, 竹下康文, 宮崎宣丞, 松浦央憲, 福田将史, 木山良二. 日常生活動作の肩甲上腕関節の安定性と肩関節周囲筋の筋張力の関係. 理学療法かごしま, 1: 11-17, 2022
8. 中西和毅, 中村壮志, 小林明日香, 松野竜工, 下村珠美, 宮崎雅司, 田邊史, 井尻 幸成, 榎間春利. 腰椎前外側椎体間固定術 (OLIF) と後方椎体固定を併用した腰椎変性側弯症患者の腹部筋再教育に着目した術後理学療法. 理学療法かごしま1巻: 38-44, 2022
9. 則松貢輔, 中西和毅, 柿元翔吾, 野島菜央, 谷明, 松崎凌真, 松岡輝樹, 稲留真輝, 加藤夕貴, 立部勇汰, 高田聖也, 大塚章太郎, 角園恵, 榎間春利. トレッドミル運動と水泳が老化促進マウスの自然発症型変形性膝関節症に及ぼす影響. 基礎理学療法学26巻 (1): 1-10, 2023
10. 榎間春利, 大塚章太郎, 谷明. (特集) 人參養榮湯による老化促進マウスの身体的フレイルに及ぼす影響. Prog.Med, 43: 509-514, 2023
11. 下木原俊, 池田由里子, 松田史代, 田平隆行. 地域在住高齢者のモバイル機器習熟度と主観的認知機能および金銭管理能力との関連. 第2回日本老年療法学会, 2023年9月 (奄美)

## 【学会発表】

(国際学会)

1. Yuji Okamoto, Yu Hiramatsu, Masahiro Ando, Jun-hui Yuan, Akiko Yoshimura, Yujiro Higuchi, Akihiro Hashiguchi, Hiroshi Takashima. Analysis of mitochondria-related neuropathy from clinically suspected Charcot-Marie-Tooth patients and mitochondrial diseases. 2023 PNS Annual Meeting, Copenhagen, Denmark. 2023.
2. Misu S, Ishigaki T, Miyashita T, Matsumoto D, Kamiya M, Okamae A, Ogawa T, Ihira H, Taniguchi Y, Ohnuma T, Chibana T, Morikawa N, Ikezoe T, Makizako H. Effects of walking alone on physical function, fall-related outcomes, and quality of life in older adults: a systematic review and meta-analysis. 16th Asian Confederation for Physical Therapy Congress, 2023年11月 (Thailand)
3. Makizako H, Akaida S, Shiratsuchi D, Tateishi M, Fukuei T. Achieving recommended levels of moderate physical activity to alleviate age-related weakness but and muscle loss. The 9th ASIAN CONFERENCE for FRAILITY AND SARCOPENIA, 2023年10月 (Singapore)
4. Shiratsuchi D, Makizako H, Akaida S, Tateishi M, Nishita Y, Jeong S, Otsuka R, Abe T, Suzuki T. Associations between lifestyle-related digital device use and physical frailty in community-dwelling old-old adults: findings from ILSA-J. The 9th ASIAN CONFERENCE for FRAILITY AND SARCOPENIA, 2023年10月 (Singapore)
5. Akaida S, Tateishi M, Shiratsuchi D, Taniguchi Y, Kiuchi Y, Nakai Y, Kiyama R, Makizako H. Associations of engagement in various lifestyle activities with physical function and muscle mass among community-dwelling middle-aged and older adults after cessation of driving: A mixed-methods study. The 9th ASIAN CONFERENCE for FRAILITY AND SARCOPENIA, 2023年10月 (Singapore)
6. Makino K, Raina P, Griffith L, Lee S, Harada K, Katayama O, Tomida K, Morikawa M, Makizako H, Shimada H. Physical frailty accelerates death beyond subsequent functional disability among community-dwelling older adults: Evidence from a 5-year cohort study. IAGG Asia/Oceania, 2023年6月 (Yokohama, Japan)



## 業績目録

7. Makizako H, Akaida S, Tateishi M, Shiratsuchi D, Kiyama R, Kawada M, Tabira T, Shimada H, Kubozono T, Ohishi M. Does mild cognitive impairment accelerate age-related changes in physical function and body composition? —A 3-years longitudinal follow-up study—. IAGG Asia/Oceania, 2023年6月 (Yokohama, Japan)
8. Kiuchi Y, Doi T, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Kurita S, Nishimoto K, Makizako H, Shimada H. Combined effect of depressive symptoms and low dietary diversity on incident disability in community-dwelling older adults with sarcopenia. IAGG Asia/Oceania, 2023年6月 (Yokohama, Japan)
9. Masumitsu T, Yamashita A, Ikeda Y, Tabira T, Ohshige T, Makizako H. Association between bathing and sleep quality among Japanese old adults. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), 2023年3月 (Tokyo, Japan)
10. Shoma Akaida, Mana Tateishi, Daijo Shiratsuchi, Yoshiaki Taniguchi, Yuto Kiuchi, Yuki Nakai, Ryoji Kiyama, Hyuma Makizako. Associations of Engagement in Various Lifestyle Activities with Physical Function and Muscle Mass Among Community-dwelling Middle-aged and Older Adults after Cessation of Driving: A Mixed-methods Study. 9th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia, 2023年10月 (Singapore)

### (国内学会)

1. 岡本裕嗣. シンポジウム「オールジャパンで築くミトコンドリア病診療」ミトコンドリアニューロパシー. 第21回日本ミトコンドリア学会年会. 東京, 2023
2. 佐々木裕美, 篠原直弘, 岩下稜, 永野 聡, 谷口昇. 橈骨遠位端骨巨細胞腫再発例に対してデノスマブ投与後に en bloc 切除と vascularized ulna transposition による関節固定を行った1例. 第6回日本サルコマー治療研究会学術集会, 2023年2月 (兵庫)
3. 佐々木裕美, 篠原直弘, 井手貴之, 永野聡, 谷口昇. 更年期手指関節症に対するホルモン補充療法の治療効果 1年経過例の報告. 第96回日本整形外科学会学術総会, 2023年5月 (神奈川)
4. 篠原直弘 (鹿児島大学 大学院整形), 井手貴之, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇. 手の内軟骨腫の術式による合併症と治療成績の比較. 第96回日本整形外科学会学術総会, 2023年5月 (神奈川)
5. 岩下稜, 佐々木裕美, 篠原直弘, 永野 聡, 谷口昇. 橈骨遠位端骨巨細胞腫再発例に対し en bloc 切除後 vascularized ulna transposition にて関節固定を行った1例. 第146回西日本整形・災害外科学会, 2023年6月 (福岡)
6. 佐々木裕美, 瀬戸口啓夫, 篠原直弘, 永野聡, 谷口昇. 悪性軟部腫瘍切除における周術期感染発症のリスクファクターについて 栄養の観点から. 第46回日本骨・関節感染症学会, 2023年6月 (三重)
7. 佐々木裕美, 篠原直弘, 永野聡, 谷口昇. 橈骨遠位端骨巨細胞腫再発例に対しデノスマブ使用後 en bloc 切除し vascularized ulna transposition にて再建を行った1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2023年7月 (東京)
8. 永野聡, 二川俊隆, 平岡弘二, 岩田慎太郎, 川井章, 谷口昇, 小賤健一郎. シンポジウム: 整形外科医の手による骨・軟部腫瘍の医師主導治験への道 独自開発した腫瘍溶解性ウイルスの基礎研究から医師主導治験までの道のり—骨・軟部腫瘍から他がん種への適応拡大を目指して—. 第38回日本整形外科学会基礎学術集会, 2023年10月 (茨城)
9. 永野 聡, 佐々木裕美, 篠原直弘, 島ノ江研, 谷口昇. 転移性骨腫瘍に対する外科的治療とがんリハビリテーション. Meet the expert and discussion 緩和ケアを主体とする時期のがんリハビリテーションアプローチ. 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023年11月 (宮崎)
10. 宮崎宣丞, 竹下康文, 中井雄貴, 荒本草太, 川田将之, 木山良二, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢女性における歩行速度増大の戦略と歩行パラメータ, 身体機能の関連. 第28回日本基礎理学療法学会, 2023年12月, 広島.
11. 赤井田将真, 白土大成, 木内悠人, 立石麻奈, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢女性における自動車運転の経験と認知機能の関連. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
12. 谷口善昭, 赤井田将真, 白土大成, 立石麻奈, 牧迫飛雄馬. 60歳以上の中高齢者における勇気ある思考や行動と主観的健康感との関連性. 第10回日本予防理学療法学会学術大会, 2023年10月 (函館)
13. 倉津諒大, 赤井田将真, 立石麻奈, 白土大成, 木内悠人, 愛下由香里, 大石充, 窪蘭琢郎, 竹中俊宏, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者における身体機能と認知機能との関連について~教育歴による差異~. 第12回認知症予防学会学術集会. 2023年9月, 新潟.
14. 牧芳昭, 森田秋子, 山田将成, 中橋亮平, 牧迫飛雄馬. 脳卒中患者における行動観察による認知機能と日常生活動作能力の関連—認知関連行動アセスメントに着目して—. 第21回日本神経理学療法学術大会, 2023年9月, 横浜.
15. 倉津諒大, 赤井田将真, 白土大成, 立石麻奈, 木内悠人, 愛下由香里, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者における新聞を読む頻度と認知機能の関連. 第2回日本老年療法学会学術集会, 2023年9月, 鹿児島 (奄美).

## 業績目録

16. 立石麻奈, 赤井田将真, 白土大成, 木内悠人, 倉津諒大, 窪菌琢郎, 大石充, 竹中俊宏, 前田真由佳, 牧迫飛雄馬. 地域在住中高年者における COVID-19流行禍の身体活動量の自己管理が3年後の身体機能に与える影響. 第2回日本老年療法学会学術集会, 2023年9月, 鹿児島 (奄美). 最優秀演題賞.
17. 三宅悠斗, 赤井田将真, 白土大成, 立石麻奈, 倉津諒大, 牧迫飛雄馬. 主観的な睡眠の質と身体機能との関連性～共分散構造分析による検討～. 第2回日本老年療法学会学術集会, 2023年9月, 鹿児島 (奄美).
18. 白土大成, 赤井田将真, 福榮竜也, 立石麻奈, 谷口善昭, 木内悠人, 愛下由香里, 倉津諒大, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者における靴底の状態と転倒との関連. 第2回日本老年療法学会学術集会, 2023年9月, 鹿児島 (奄美).
19. 赤井田将真, 立石麻奈, 白土大成, 牧迫飛雄馬. 高齢者が自動車運転中止後に様々な活動に取り組むために重要な要素についての検討: 計量テキスト分析. 第2回日本老年療法学会学術集会, 2023年9月, 鹿児島 (奄美).
20. 赤井田将真, 立石麻奈, 谷口善昭, 白土大成, 木内悠人, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住中高齢者の自動車運転実施状況および生活活動と身体機能, 筋量との関連. 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月, 横浜.
21. 倉津諒大, 谷口善昭, 木内悠人, 赤井田将真, 白土大成, 立石麻奈, 福榮竜也, 愛下由香里, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者における Motoric cognitive risk syndrome と転倒恐怖感との関連. 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月, 横浜.
22. 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 立石麻奈, 白土大成, 谷口善昭, 竹中俊宏, 窪菌琢郎, 大石充.  $\alpha$ -アクリニン3遺伝子多型が身体機能の加齢変化に及ぼす影響—3年間の縦断観察研究—. 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月, 横浜.
23. 白土大成, 谷口善昭, 赤井田将真, 立石麻奈, 木内悠人, 愛下由香里, 福榮竜也, 倉津諒大, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者におけるペットボトル開封時のキャップ把持パターンと筋力低下の関連性. 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月, 横浜.
24. 阿部巧, 藤原佳典, 北村明彦, 野藤悠, 西田裕紀子, 牧迫飛雄馬, 鄭丞媛, 大塚礼, 鈴木隆雄, ILSA-J Group. JST 版活動能力指標との関連性における身体機能と認知機能の差異: 長寿コホートの総合的研究 (ILSA-J). 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月, 横浜.
25. 鈴木隆雄, 西田裕紀子, 牧迫飛雄馬, 鄭丞媛, 島田裕之, 大塚礼, 阿部巧, ILSA-J グループ. 地域在住高齢者の健康関連変数の2007年から2017年の推移: 長寿コホートの総合的研究 (ILSA-J). 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月, 横浜.
26. 木内悠人, 土井剛彦, 堤本広大, 中窪翔, 栗田智史, 西本和平, 見須裕香, 牧迫飛雄馬, 島田裕之. サルコペニア高齢者の摂取食品多様性と介護認定の関連: 40ヶ月の追跡調査. 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月, 横浜.
27. 大塚礼, 西田裕紀子, 牧迫飛雄馬, 鄭丞媛, 阿部巧, 島田裕之, 鈴木隆雄, ILSA-J グループ. 地域在住高齢者のサルコペニア頻度の2012年から2017年の推移: 長寿コホートの総合的研究 (ILSA-J). 第33回日本老年学会, 2023年6月, 横浜.
28. 益満智美, 宮田昌明, 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 川添晋, 窪菌琢郎, 竹中俊宏, 大石充. 地域在住高齢者における睡眠時間と質における血清脂質値と血糖値との関連. 第59回日本循環器予防学会学術集会, 2023年6月, 鹿児島.
29. 白土大成, 赤井田将真, 立石麻奈, 谷口善昭, 竹中俊宏, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者におけるメタボリックシンドロームおよび身体機能低下の併存と認知機能の関連. 第59回日本循環器予防学会学術集会, 2023年6月, 鹿児島.
30. 赤井田将真, 立石麻奈, 白土大成, 谷口善昭, 竹中俊宏, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者における社会的交流および外出頻度と動脈硬化の関連. 第59回日本循環器予防学会学術集会, 2023年6月, 鹿児島.
31. 白土大成, 赤井田将真, 立石麻奈, 谷口善昭, 竹中俊宏, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者におけるメタボリックシンドロームおよび身体機能低下の併存と認知機能の関連. 第59回日本循環器予防学会学術集会, 2023年6月, 鹿児島.
32. 愛下由香里, 牧迫飛雄馬, 宇都良大, 福榮竜也, 谷口善昭, 白土大成, 赤井田将真, 立石麻奈, 木内悠人, 倉津諒大, 田中梨美子, 柳正和, 連利博. 看護師におけるワーク・エンゲイジメントと腰痛, ストレスおよび自己効力感の関連性. 第96回日本産業衛生学会, 2023年5月, 栃木.
33. 立石麻奈, 赤井田将真, 桑原祐一, 牧迫飛雄馬. コロナ禍での運動教室が社会交流および運動習慣構築の促進につながったフレイル高齢者の一例. 第33回日本老年医学会九州地方会, 2023年3月, 福岡.
34. 赤井田将真, 立石麻奈, 谷口善昭, 木内悠人, 福榮竜也, 白土大成, 愛下由香里, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 自動車運転をしていない地域在住後期高齢女性における免許保有歴と認知機能の関連. 第33回日本老年医学会九州地方会, 2023年3月, 福岡.
35. 松田史代, 牧迫飛雄馬, 大渡昭彦, 大栄恵. 地域在住高齢者の保健事業と介護予防の役場と大学の一体的な取り組み報告. 第33回日本老年医学会九州地方会, 2023年3月, 福岡.
36. 矢野望夢, 大渡昭彦, 岩下大志. 重度脳性麻痺患者における多周波数生体電気インピーダンス法を用いた栄養評価と臨床転帰の関連性. 日本リハビリテーション栄養学会, 2023年1月 (熊本).

## 業績目録

37. 中井雄貴, 竹下康文, 木山良二, 川田将之, 宮崎宣丞, 荒木草太. 外的な腹圧サポートの有無が動的バランスに及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
38. 福田将史, 川田将之, 竹下康文, 中島将武, 宮崎宣丞, 宇都由貴, 松浦央憲, 下世大治, 當房寛文, 木山良二. 腰背部筋が体幹回旋を伴うリフティング動作中の腰椎安定化に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
39. 福田将史, 川田将之, 竹下康文, 中島将武, 宮崎宣丞, 宇都由貴, 松浦央憲, 下世大治, 木山良二. 腰部多裂筋がリフティング動作中に腰椎の動的安定化に及ぼす影響. 九州理学療法士学術大会, 2023年11月 (熊本)
40. 下世大治, 宮崎宣丞, 竹下康文, 山添桃菜, 松浦央憲, 福田将史, 中島将武, 加治智和, 川田将之, 木山良二. ウェアラブルセンサーによるリアルタイムフィードバックを用いた歩行練習の即時効果:ラクナ梗塞患者1例における検討. 九州理学療法士学術大会, 2023年11月 (熊本)
41. 宮崎宣丞, 下世大治, 竹下康文, 荒木草太, 松浦央憲, 宇都由貴, 中島将武, 福田将史, 中井雄貴, 松澤雄太, 中辻晋太郎, 川田将之, 木山良二. 関節角度のリアルタイムフィードバックによる歩行練習の即時効果:人工膝関節置換術後患者2例での検討. 第11回日本運動器理学療法学会学術集会, 2023年10月 (福岡)
42. 中島将武, 川田将之, 竹下康文, 宮崎宣丞, 西美沙夜, 宇都由貴, 松浦央憲, 福田将史, 下世大治, 木山良二. 日常生活動作中の腱板損傷による肩甲上腕関節の動的安定性に非損傷筋が与える影響. 第11回日本運動器理学療法学会学術集会, 2023年10月 (福岡)
43. 松浦央憲, 荒木草太, 東條竜二, 中村俊博, 宇都由貴, 中島将武, 福田将史, 下世大治, 宮崎宣丞, 川田将之, 木山良二. 脳卒中片麻痺者における6分間歩行距離と歩行定常性に関する検証. 第21回日本神経理学療法学会学術集会, 2023年9月 (神奈川)
44. 佐々木翔健, 吉村優希, 原口徹郎, 松本航, 木山良二. 慣性センサーを用いた定量的歩行分析の臨床応用. 鹿児島リハビリテーション医学研究会, 2023年3月 (鹿児島市)
45. 立部勇汰, 松岡輝樹, 野島菜央, 谷明, 松崎凌真, 稲留真輝, 柿元翔吾, 加藤夕貴, 中西和毅, 榎間春利. ラット脳梗塞後の早期遠隔虚血ポストコンディショニングが脳保護効果に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
46. 稲留真輝, 柿元翔吾, 谷明, 松崎凌真, 松岡輝樹, 立部勇汰, 野島菜央, 加藤夕貴, 中西和毅, 榎間春利. PRP療法と運動療法が変形性膝関節症モデルラットの中樞神経系に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
47. 谷明, 中西和毅, 松岡輝樹, 松崎凌真, 野島菜央, 立部勇汰, 柿元翔吾, 稲留真輝, 加藤夕貴, 榎間春利. ラット脳梗塞後の運動療法と人參養榮湯の併用療法は感覚運動機能の回復を促進する. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
48. 野島菜央, 谷明, 立部勇汰, 松岡輝樹, 松崎凌真, 稲留真輝, 柿元翔吾, 加藤夕貴, 中西和毅, 榎間春利. 脳梗塞後うつ病モデルラットの作製と海馬神経新生に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
49. 中西和毅, 則松貢輔, 谷明, 松崎凌真, 松岡輝樹, 加藤夕貴, 柿元翔吾, 立部勇汰, 野島菜央, 榎間春利. 早期運動介入と運動中止がアルツハイマー病モデル動物の認知機能低下や海馬に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
50. 角園恵, 谷明, 野島菜央, 松崎凌真, 柿元翔吾, 中西和毅, 吉里雄伸, 今井孝樹, 榎間春利. 神経院生疼痛モデルラットにおける運動療法効果—作業記憶と長期記憶の関連性について—. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
51. 柿元翔吾, 稲留真輝, 谷明, 松崎凌真, 松岡輝樹, 野島菜央, 立部勇汰, 加藤夕貴, 中西和毅, 榎間春利. 多血小板血漿療法と運動療法の併用が変形性膝関節症モデルラットの膝関節に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
52. 松崎凌真, 上田見希, 富原優子, 長嶺安通, 松岡輝樹, 宮崎雅司, 中西和毅, 榎間春利. 運動器疾患を有した地域在住後期高齢者に対する1年間の短時間通所リハは1日の活動パターンに影響を及ぼすか?. 九州理学療法士学術大会2023in 熊本, 2023年11月 (熊本)
53. 松岡輝樹, 松崎凌真, 中西和毅, 榎間春利. 運動器疾患を有した地域在住高齢者における Timed up and go test と日中活動パターンの関係. 九州理学療法士学術大会, 2023年11月 (熊本)
54. 加藤夕貴, 松崎凌真, 稲留真輝, 中西和毅, 谷明, 松岡輝樹, 柿元翔吾, 立部勇汰, 野島菜央, 榎間春利. 自走運動が Alzheimer 病モデルマウスの認知機能低下や海馬神経新生に及ぼす影響. コ・メディカル形態機能学会第21回学術集会, 2023年9月 (山形)
55. Teruki Matsuoka, Ryoma Matsuzaki, Akira Tani, Kosuke Norimatsu, Nao Nojima, Yuta Tachibe, Masaki Inadome, Shogo Kakimoto, Yuki Kato, Kazuki Nakanishi, Seiya Takada, Shotaro Otsuka, Harutoshi Sakakima. Effects of remote ischemic pre-conditioning (RIPC) on brain

## 業 績 目 録

- damage and functional recovery after stroke in rats. 第46回日本神経科学大会, 2023年8月 (宮城)
56. Fumiyo Matsuda, Haruka Kikuchi. Effects of familial Alzheimer's gene type on life expectancy and the effect of age-related cognitive behavior in knock-in mouse. 第46回日本神経科学学会, 2023年8月 (宮城県)
  57. 白土大成, 元廣惇, 奥山健太, 安部孝文. 中小企業勤労者における職業性ストレスとプレゼンティーズムとの関連. 第96回日本産業衛生学会, 2023年5月 (栃木)
  58. 爲國友梨香, 元廣惇, 白土大成, 由利拓真. 中小企業勤労者におけるワーク・エンゲイジメントと慢性疾患, ストレス, 心理的安全性の関連性についての検討. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
  59. 柘植孝浩, 山本乃利男, 對東俊介, 三浦隆徳, 白土大成, 頼藤貴志. 股関節近位部骨折手術後の患者に対する Telerehabilitation の有効性: システムティック・レビューとメタアナリシス. 第16回日本運動器疼痛学会, 2023年11月 (富山)

### 【講演】

1. 大重匡, 永野聡, 岡本裕嗣, 牧迫飛雄馬. 高齢者の介護法. 鹿児島大学主催市民公開講座, 2023年8月26日 (対面で開講)
2. 大重匡. 理学療法の基本. 県内離島高校との出前授業, 2023年9月15日 (種子島中央高校, 大島高校, 種子島高校, 沖永良部高校)
3. 大重匡. 理学療法の基本. 出前授業, 2023年10月27日 (鹿児島県立出水高等学校)
4. 牧迫飛雄馬. 簡単手軽に! 今から始める「フレイル予防」. 鹿児島市フレイル予防教室, 2023年12月. 鹿児島市.
5. 牧迫飛雄馬. 高齢者のフレイルと認知症予防のためのコグニサイズ. 栃木県大学地域連携活動支援事業 (国際医療福祉大学地域公開講座), 2023年10月. 栃木 (大田原).
6. 牧迫飛雄馬. 高齢者におけるフレイルとコグニサイズの基礎知識と実践. 栃木県大学地域連携活動支援事業, 2023年11月. 栃木 (WEB).
7. 牧迫飛雄馬. フレイル対策の New Stage ~フレイル対策に必要な評価視点と地域実践~. 第28回宮崎県理学療法学会 (特別講演). 一般社団法人 宮崎県理学療法士会, 2023年12月. 宮崎.
8. 牧迫飛雄馬. 健康長寿のための脳とからだのフレイル対策. 第13回食と健康に関するシンポジウム~鹿児島から発信しよう「美容と健康長寿」~. 公益社団法人鹿児島県工業倶楽部, 2023年11月. 鹿児島市.
9. 牧迫飛雄馬. 産官学連携による中高齢者を対象とした地域コホート研究—垂水研究—. 第10回日本予防理学療法学会学術大会, 2023年10月. 北海道 (函館).
10. 牧迫飛雄馬. 認知症の予防および共生を目指した多職種アプローチ—理学療法士の立場から—. 第10回日本予防理学療法学会学術大会, 2023年10月. 北海道 (函館).
11. Makizako H. Community-based study for frailty and sarcopenia in Kagoshima, 1st Digital Healthcare Joint International Conference, 2023. 9. 18 (Busan, Korea).
12. 牧迫飛雄馬. 老年療法学の確立へ向けて~多職種・異分野融合によるイノベーション~第2回日本老年療法学会学術集会 (大会長講演), 2023年9月. 鹿児島 (奄美市).
13. 牧迫飛雄馬. なぜ, 身体活動が認知症の予防に良いのか? 令和5年度放送大学公開講演会. 2023年8月, 鹿児島 (鹿屋市).
14. 牧迫飛雄馬. フレイル予防で健康な未来を. 第12回鹿児島市セーフコミュニティ推進フォーラム, 鹿児島市安心安全課, 2023年7月. 鹿児島市.
15. 牧迫飛雄馬. 地域での高齢者健康科学研究~トピックス~第2回高齢者地域健康科学研究会, 2023年7月. 札幌 (WEB).
16. 牧迫飛雄馬. 予防理学療法における講師. 大分リハビリテーション専門学校, 2023年4月. 大分 (WEB).
17. 牧迫飛雄馬. フレイルの多面性の捉え方とトピックス. 第6回運動器と健康研究会—最新技術から見た運動器老化の最前線—, サントリーウエルネス株式会社健康科学研究所, 2023年3月. 京都.
18. 牧迫飛雄馬. ポストコロナ時代に向けた健康づくり—フレイル (虚弱) 予防に大切な活動—. 公益社団法人岐阜県理学療法士会市民公開講座, 2023年2月. 岐阜.
19. 牧迫飛雄馬. 地域理学療法に必要な EBM と予防の考え方. リハテックリンクス株式会社, 2023年1月 (WEB).
20. 牧迫飛雄馬. フレイルの基礎知識と地域における介護予防~介護保険サービスからつなぐ地域の力~. 岩手県リハビリテーション専門職協議会, 2023年1月 (WEB).
21. 榎間春利. 臨床研究の進め方 学術論文の書き方. 2023年度鹿児島県理学療法士協会 学術研修会, 2023年8月 (鹿児島市)
22. 榎間春利. シンポジウム: 脳保護を考慮した運動療法. 第45回日本高血圧学会総会, 2023年9月 (大阪)
23. 榎間春利. 第42回日本認知症学会学術集会ランチョンセミナー. 認知症治療における漢方薬の可能性, 2023年11月 (奈良)

## 業 績 目 録

24. 榎間春利, 神経疾患に対する理学療法の効果検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)
25. 中西和毅, パーキンソン病の新規治療開発の現在と理学療法. 全国パーキンソン病友の会鹿児島支部 始良・霧島地区交流会, 2023年5月 (霧島市)
26. Daijo Shiratsuchi, IFPOHE working together meeting What it is like working in Japan. World Physiotherapy Congress 2023, 2023年6月 (UAE)
27. 白土大成, 一般企業の健康づくりに作業療法の観点を生かす 企業での健康づくりに関する研究. Rehatech Links 株式会社, 2023年9月 (Web)
28. 白土大成, サルコペニア・フレイルに対する予防理学療法の実践—参加を見据えた理学療法—. 第10回日本予防理学療法学会学術大会, 2023年10月 (北海道)
29. 菊地和人, 高沢浩太郎, 白土大成, 石光雄太. 英国の産業理学療法—本邦との比較・応用—. 第6回日本産業理学療法研究会学術大会, 2023年10月 (北海道)

### 【その他】

(座長等)

1. 牧迫飛雄馬, シンポジウム (サルコペニア・フレイルの予防理学療法最前線) 座長. 第10回日本予防理学療法学会学術大会 (函館), 2023年10月.
2. 牧迫飛雄馬, オーガナイズドセッション (フレイルの社会的側面) 座長. 第10回日本予防理学療法学会学術大会 (函館), 2023年10月.
3. 牧迫飛雄馬, シンポジウム (先端技術がもたらすより良い医療のかたち) 司会. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023年12月.
4. 牧迫飛雄馬, シンポジウム (地域理学療法における研究法) 司会. 第10回日本地域理学療法学会学術大会 (東京), 2023年12月.
5. 牧迫飛雄馬, シンポジウム (高齢者の肥満の診断と治療) 座長. 第10回日本サルコペニア・フレイル学会 (東京), 2023年11月.
6. 牧迫飛雄馬, ランチョンセミナー座長. 第10回日本転倒予防学会学術集会 (京都), 2023年10月.
7. 牧迫飛雄馬, 寄付セミナー座長. 第2回日本老年療法学会学術集会 (奄美), 2023年9月.
8. 牧迫飛雄馬, 市民公開講座. 鹿児島大学医学部主催 (奄美), 2023年9月.
9. 牧迫飛雄馬, 口述発表 (フレイルサルコペニア3) 座長. 第65回日本老年医学会学術集会 (横浜), 2023年6月.
10. 榎間春利, 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 口述10 理工 / 橋渡し, 2023年12月 (広島)
11. 木山良二, 座長 (口述5 脳損傷・歩行1). 第21回日本神経理学療法学会学術集会, 2023年9月 (神奈川)
12. 木山良二, 座長 (ポスター②運動学04). 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023年12月 (広島)

(研修会等)

1. 牧迫飛雄馬, 理学療法士としておさえておきたい最新のフレイル・老年症候群. 令和5年度中信ブロック市民公開研修会. (一社) 長野県理学療法士会, 2023年11月. 長野 (WEB).
2. 牧迫飛雄馬, 健康長寿へ向けた多面的なアプローチ～行動学・社会心理学レベルも踏まえて～. 地域包括ケアシステムに関わる実務者ブラッシュアップ研修. 埼玉県理学療法士会, 2023年10月. 埼玉 (WEB).
3. 牧迫飛雄馬, 健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策. 健康づくりのための運動指導研修会 (山口県健康づくりセンター), 2023年10月. 山口 (オンデマンド).
4. 牧迫飛雄馬, 必須⑮介護予防理学療法の将来展望. 令和5年度 (2023年度) 介護予防認定理学療法士臨床認定カリキュラム講習会, 2023年9月. 山口 (WEB).
5. 牧迫飛雄馬, 選択⑧疾病・障害特異的理学療法の実際 (技術編8) (科学的根拠に基づく介護予防の実際). 令和5年度 (2023年度) 介護予防認定理学療法士臨床認定カリキュラム講習会, 2023年9月. 山口 (WEB).
6. 牧迫飛雄馬, 地域包括ケアにおける科学的根拠に基づく介護予防活動の実践. 山口県理学療法士会主催 令和5年度定期理学療法研修会, 2023年8月. 山口 (WEB).
7. 牧迫飛雄馬, 論文投稿の実際とその後の対応. 令和5年度鹿児島県理学療法士協会研修会, 2023年8月. 鹿児島市.
8. 牧迫飛雄馬, 認知症予防の基礎と実践. 鹿児島大学医学部保健学科学理学療法専攻公開講座, 2023年8月. 鹿児島市.

## 業 績 目 録

9. 牧迫飛雄馬. 身体機能評価法について. サルコペニア・フレイル指導士 WEB 研修会 (オンライン開催), 2023年6月.
10. 牧迫飛雄馬. フレイルの多面性の捉え方とトピックス. 霧島市多職種向けの講演会, 鹿児島第一医療リハビリ専門学校, 2023年5月. 霧島.
11. 牧迫飛雄馬. 長期的視点に立ったフレイルに対する包括的介入. 第8回三団体合同研修会 (一般社団法人全国デイ・ケア協会, 一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会, 一般社団法人日本介護支援専門員協会), 2023年3月 (WEB).
12. 牧迫飛雄馬. 運動による認知症予防の理論と実践. (一社)鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会, 令和4年度訪問リハビリテーション研修会ステップアップ研修会, 2023年3月 (WEB).
13. 牧迫飛雄馬. 糖尿病と認知機能低下の予防・改善のための運動指導. 第2回糖尿病重症化予防連携強化研修会, 鹿児島県・鹿児島県医師会, 2023年1月. 鹿児島.
14. 大渡昭彦. 鹿児島市主催, 介護予防活動発表会講師, 2023.2.15 (鹿児島市)
15. 大渡昭彦. 鹿児島県理学療法士会主催, 介護予防シンポジウム講師, 2023.3.9 (鹿児島市)
16. 大渡昭彦. 鹿児島県理学療法士会主催, 鹿児島市地域リハ支援事業新任講師研修会講師, 2023.6.26 (鹿児島市)
17. 大渡昭彦. 鹿児島県理学療法士会主催, 学術部研修会講師, 「研究計画の立て方」, 2023.8.20 (鹿児島市)
18. 大渡昭彦. 生活協同組合コープかごしま主催, 介護予防事業の現状と持続可能な取り組みのアイデア, 2023.8.21 (鹿児島市)
19. 大渡昭彦. 鹿児島県理学療法士会主催, 臨床実習指導者講習会「理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要」, 2023.11.11, 2023.11.12 (鹿児島市)
20. 松田史代. 「倫理」. 鹿児島県理学療法士協会新卒者オリエンテーション, 2023年4月16日 (鹿児島市)
21. 松田史代. 「職業人と倫理」. 鹿児島県理学療法士協会新人教育プログラム, 2023年5月 (鹿児島市)
22. 松田史代. 「職業人と倫理」. 鹿児島県理学療法士協会新人教育プログラム, 2023年6月 (オンライン)
23. 松田史代. 「特別全国障がい者スポーツ大会」資格審査 (二次), 2023年7月 (鹿児島市)
24. 松田史代. 「全国障がい者スポーツ大会の概要, コンディショニングルーム運営の実際, 対象障がい・対象競技について」. 鹿児島県理学療法士協会専門領域「障がい者スポーツ」系研修会, 2023年7月 (オンライン, 鹿児島市)
25. 松田史代. 機能訓練事業 (十島村・平島). 鹿児島県理学療法士協会委託事業, 2023年9月 (十島村)
26. 松田史代. 「障害種別について, 選手団受け入れにあたっての留意点 (全国障害者スポーツ大会での体験談)」. 燃ゆる感動かごしま大会 (特別全国障害者スポーツ大会) 宿泊施設従事者接遇講習会, 2023年9月 (鹿児島市, 指宿市, 霧島市)
27. 松田史代. 「人間関係論」. 鹿児島県臨床実習指導者養成研修会, 2023年11月 (鹿児島市)
28. 松田史代. 「身体障害」. 鹿児島県障がい者スポーツ指導員養成講習会, 2023年12月 (鹿児島市)
29. 水田明子, 李慧瑛, 松田史代, 高田千春, 吉住嘉代子, 田畑千穂子, 二之宮美由紀, 土岐篤史. 在住外国人のための専門相談会&子育て交流会. かごしま国際交流センター, 2023年3月19日 (鹿児島市)
30. 世界展開力強化事業 WG メンバー. 鹿児島大学医学部 大学の世界展開力強化事業クロージングフォーラム (国際会議開催), 2023年3月5日 (鹿児島市)
31. 松田史代. 「令和4年度 十島村高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の報告および住民のフィジカルアセスメントについて」. 十島村ボランティア合同研修会, 2023年2月 (オンライン)

### (受賞)

1. 最優秀演題賞. 立石麻奈, 赤井田将真, 白土大成, 木内悠人, 倉津諒大, 窪蘭琢郎, 大石充, 竹中俊宏, 前田真由佳, 牧迫飛雄馬. 地域在住中高年者における COVID-19流行禍の身体活動量の自己管理が3年後の身体機能に与える影響. 第2回日本老年療法学会学術集会, 2023年9月 (奄美市)
2. 優秀演題賞. 大塚礼, 西田裕紀子, 牧迫飛雄馬, 鄭丞媛, 阿部巧, 島田裕之, 鈴木隆雄, ILSA-J グループ. 地域在住高齢者のサルコペニア頻度の2012年から2017年の推移:長寿コホートの総合的研究 (ILSA-J). 第65回日本老年医学会学術集会, 2023年6月. 横浜.
3. 優秀賞. 福田将史, 川田将之, 竹下康文, 中島将武, 宮崎宣丞, 宇都由貴, 松浦央憲, 下世大治, 木山良二. 腰部多裂筋がリフティング動作中に腰椎の動的安定化に及ぼす影響. 九州理学療法士学術大会, 2023年11月 (熊本)
4. 優秀賞. 中島将武, 川田将之, 竹下康文, 宮崎宣丞, 松浦央憲, 福田将史, 木山良二. 日常生活動作の肩甲上腕関節の安定性と肩関節周囲筋の筋張力の関係. 理学療法かごしま, 1: 11-17, 2022
5. 奨励賞. 下木原俊, 池田由里子, 松田史代, 田平隆行. 第2回日本老年療法学会, 2023年9月 (奄美)

## 〔作業療法学専攻〕

## 【論文著書】

(和文著書)

1. 田平隆行：記憶の障害，下田信明，高杉潤編，高次脳機能障害リハビリテーションの流れが見える．羊土社，東京，pp91-100，2023
2. 田平隆行：老年期障害領域の作業療法，東登志夫編集，作業療法学概論テキスト，南江堂，東京，pp241-257，2023

(英文論文)

1. Akaida S, Tabira T, Nakai Y, Maruta M, Taniguchi Y, Tomioka K, Sato N, Wada A, Makizako H. Are satisfaction and performance of meaningful activities associated with comprehensive frailty in older adults? Arch Gerontol Geriatr, 105: 104845, 2023. doi.org/10.1016/j.archger.2022.104845
2. Ikeda Y, Tabira T, Oshige T, Masumitsu T, Makizako H, KU-OHL Project member. Association between Sleep Onset Problem and Subjective Cognitive Complaints among Japanese Older Adults during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic. Int J Environ Res Public Health, 20(1), 156, 2023. doi.org/10.3390/ijerph20010156
3. Eito Arikawa, Masatomo Kubota, Tomoko Haraguchi, Masachika Takata and Shoji Natsugoe, Implicit Motor Learning Strategies Benefit Dual-Task Performance in Patients with Stroke. Medicina 2023, 59, 1673. https://doi.org/10.3390/medicina59091673.
4. Hidaka Y, Tabira T, Maruta M, Hakizako H, Ikeda Y, Nakamura A, Han G, Miyata H, Shimokihara S, Akasaki Y, Kamasaki T, Kubozono T, Oishi M. Relationship between grave visitation and apathy among community-dwelling older adults. Psychogeriatrics 23(3): 401-410, 2023
5. Kamasaki T, Tabira T, Hachiya M, Tanaka S, Kitajima T, Ochiishi K, Shimokihara S, Maruta M, Han G, Otao H. Comparison of toe pressure strength in the standing position and toe grip strength in association with the presence of assistance in standing up : A cross-sectional study in community-dwelling older adults. Eur Geriatr Med 14(3): 429-438, 2023 doi:10.1007/s41999-023-00776-z.
6. Kamasaki T, Otao H, Hachiya M, Kubo A, Okawa H, Fujiwara K, Sakamoto A, Shimokihara S, Maruta M, Han G, Tabira T. Ann Geriatr Med Res 27(2): 106-115, 2023 doi:10.4235/agmr.23.0019.
7. Kamasaki T, Tabira T, Suenaga T, Yoshida T, Shimokihara S, Maruta M, Han G, Akasaki Y, Hidaka Y, Otao H. Association between toe pressure strength in the standing position and postural control capability in healthy adults. Gait Posture 103: 86-91, 2023
8. Kamasaki T, Otao H, Hachiya M, Tanaka S, Ochiishi K, Shimokihara S, Maruta M, Han G, Akasaki Y, Hidaka Y, Tabira T. Association between toe pressure strength in the standing position and maximum walking speed in older adults. Ann Geriatr Med Res. 2023 doi:10.4235/agmr.23.0113
9. Kukizaki W, Ohno K, Maruta M, Shimokihara S, Iida H, Tabira T. Effect of Occupation-Based Intervention Using the ADOC-H Combined with Physical Function-Based Intervention on Patients With Distal Radius Fractures: A Retrospective Case-Control Study. Hong Kong J Occu Ther 2023 doi.org/10.1177/15691861231187240
10. Maruta M, Shimokihara S, Akasaki Y, Hidaka Y, Ikeda Y, Han G, Tanaka G, Higashi T, Moriuchi T, Tabira T. Associations between Optimism and Attentional Biases as Measured by Threat-Avoidance and Positive-Search Tasks. Healthcare 11(4): 617, 2023
11. Maruta M, Tabira T, Shimokihara S, Makizako H, Ikeda Y, Han G, Akasaki Y, Hidaka Y, Nakahara R, Kamasaki T, Kukizaki W, Kubozono T, Oishi M. Changes in Satisfaction with Meaningful Activities and Onset of Depressive Symptoms among Community-Dwelling Japanese Older Adults : A Population-Based Study Before and During the COVID-19 Pandemic. JAMDA 24(5): 702-709, 2023 doi:10.1016/j.jamda.2023.03.010.
12. Sagari A, Tabira T, Maruta M, Tanaka K, Iso N, Okabe T, Han G, Kawagoe M. Risk factors for nursing home admission among older adults: Analysis of basic movements and activities of daily living. PLOS ONE, 18(1): e0279312, 2023. doi:10.1371/journal.pone.0279312.
13. Shimokihara S, Maruta M, Han G, Ikeda Y, Kamasaki T, Hidaka Y, Akasaki Y, Tabira T. Real-world Navigation with Application : Characteristics of Gaze Behavior and Associated Factors in Older Adults. Innovation in Aging, igad108, 2023 doi.org/10.1093/geroni/igad108
14. Shimokihara S, Ikeda Y, Matsuda F, Tabira T. Association of Mobile Device Proficiency and Subjective Cognitive Complaints with Financial Management Ability Among Community-Dwelling Older Adults: A Population-Based Cross-Sectional Study. Aging Clin Exp Res. in press.

## 業績目録

### (和文論文)

1. 赤崎安昭. 被疑者および犯行を目撃した人物の陳述が変遷した事例の精神鑑定. 司法精神医学18(1): 19-26, 2023.
2. 有川瑛人, 池村里菜, 瀬戸宇治友紀, 原口友子, 窪田正大, 飯干紀代子. 新造語が出現するウェルニッケ失語1例に対する Semantic feature analysis の効果. 認知リハビリテーション28: 15-26, 2023.
3. 小川耕平, 春田千幸, 鮫島亮子, 藤本皓也, 夏越祥次, 窪田正大. 注意障害とUSNを認める脳卒中患者の非麻痺側上肢機能の特徴について. 鹿児島高次脳機能研究会会誌32(1): 7-11, 2023.
4. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 久保温子, 大川裕行, 藤原和彦, 坂本飛鳥, 下木原俊, 韓旻熙, 丸田道雄, 田平隆行. 地域在住中高年者を対象としたプレフレイルからロバストへの改善に関連する基本チェックリストの各領域の特徴. 日本老年療法学会誌2: 1-8, 2023
5. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 久保温子, 大川裕行, 藤原和彦, 坂本飛鳥, 下木原俊, 韓旻熙, 丸田道雄, 田平隆行. 体力測定会への参加頻度に影響する基本チェックリストの項目. 理学療法科学, 38(1): 1-6, 2023.
6. 田平隆行, 下木原俊. 高齢者や認知症の人の「暮らし」の障害に対する作業療法の視点. 作業療法ジャーナル57(12): 1336-1341, 2023.
7. 田平隆行. 作業療法士からみた日本老年精神医学会専門医との協働への期待—生活行為障害を中心に—. 老年精神医学雑誌34(4): 324-329, 2023.
8. 田平隆行, 池田由里子. 認知機能低下に伴う生活行為障害に対するリハビリテーション. 老年社会科学, 44(4): 376-384, 2023
9. 田平隆行, 堀田牧. 生活行為工程分析表 (PADA-D). 大阪作業療法ジャーナル, 36(2): 129-139, 2023
10. 寺田笑莉菜, 瀬戸山弘貴, 本松逸平, 中山千春, 窪田正大, 八反丸健二. 回復期脳卒中片麻痺患者の Ability for Basic Movement Scale II が歩行能力の予後を予測する可能性の検討. 日本スティムレーションセラピー学会誌4: 51-57, 2023.
11. 中間賢二, 八反丸健二, 窪田正大. 回復期リハビリテーション病棟における自宅での IADL 訓練前後の不安と満足度の変化. OT ジャーナル 57: 636-641, 2023.
12. 松尾翼, 窪田正大, 本松逸平, 瀬戸山弘貴, 野元あかり, 迫立美咲, 山田佳那, 八反丸健二. 咽頭期嚥下障害患者に対するジェントルスティムを用いた併用訓練の比較検討. 日本スティムレーションセラピー学会誌4: 27-34, 2023.
13. 丸田道雄, 田平隆行. 認知的・精神的・社会的フレイル対策としての作業療法アプローチ. 日本サルコペニア・フレイル誌4(1), 2023.
14. 吉満孝二, 田中有貴, 福永一喜, 藤田賢太郎, 平嶋佑太郎, 岩渕俊一郎, 山之内瑞穂, 宮路幸一, 岩下周子. テレビ通話システム・アミによる介護の実践と介護負担軽減の試み. 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌21(1): 42-49, 2023

### 【学会発表】

#### (国際学会)

1. Masumitsu T, Yamashita A, Ikeda Y, Tabira T, Ohshige T, Makizako H. Association between bathing and sleep quality among Japanese old adults. 26th East Asian Forum of Nursing Scholars. 2023年3月 (Tokyo)
2. Makizako H, Akaida S, Tateishi M, Shiratsuchi D, Kiyama R, Kawada M, Tabira T, Shimada H, Kubozono T, Ohishi M. Does mild cognitive impairment accelerate age-related changes in physical function and body composition? —A 3-years longitudinal follow-up study—. IAGG Asia/Oceania, 2023年6月 (Yokohama)

#### (国内学会)

1. 赤崎安昭, 上村佳代, 入江香, 森岡洋史. 不作為犯の疑いで逮捕された事例の精神鑑定—「何もしない/しなかった」統合失調症者の2事例—. 第19回日本司法精神医学会大会, 2023年9月 (東京)
2. 赤崎義彦, 下木原俊, 日高雄磨, 中原伶奈, 田平隆行. 地域在住高齢者における主観的な睡眠の質と重要な活動の満足度との関連. 九州作業療法学会2023, 2023年7月 (鹿児島)
3. 赤崎義彦, 丸田道雄, 下木原俊, 日高雄磨, 田平隆行. 主観的記憶障害を有する地域在住高齢者の高次生活機能の特徴. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
4. 有川瑛人, 原口友子, 窪田正大, 船山道隆. 両側前頭葉腹内側損傷による書字過多: 書字課題時の default mode network の抑制障害. 第47回日本高次脳障害学会, 2023年10月 (仙台)
5. 池田由里子, 下木原俊, 田平隆行. 地域在住中・高齢者におけるセルフレジ・キャッシュレス決済の利用実態. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)



## 業 績 目 録

6. 池村里菜, 有川瑛人, 瀬戸宇治友紀, 原口友子, 窪田正大. ウェルニッケ失語1例におけるモーラ数・音節数の想起を活用した訓練の効果: self-generated cue の獲得に向けた試み. 第11回日本語聴覚士協会九州地区学術集会. 2023年1月 (Web 開催)
7. 井上和博, 柳田信彦, 赤崎安昭. 発達障害児が有する特性における養育者と療育者の認識の違い〜作業療法士からの提言〜. 日本心身医学会九州地方会, 2023年1月 (鹿児島)
8. 小川耕平, 春田千幸, 鮫島亮子, 藤本皓也, 夏越祥次, 窪田正大. 注意障害とUSNを認める脳卒中患者の非麻痺側上肢機能の特徴について. 第38回鹿児島高次脳機能研究会. 2023年4月 (鹿児島)
9. 小崎由果, 福元康弘, 夏越祥次, 井上和博, 窪田正大. 応用行動分析学に基づく作業療法実践により食事動作の改善を認めた精神遅滞児の一例. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島. 2023年6月 (鹿児島)
10. 釜崎大志郎, 田平隆行, 八谷瑞紀, 下木原俊, 丸田道雄, ハングアンヒ, 大田尾浩. 介護認定の有無による立位での足指圧迫力の比較, および歩行速度との関係. 第30回佐賀県理学療法士会学術大会. 2023年1月 (佐賀)
11. 釜崎大志郎, 田平隆行, 八谷瑞紀, 下木原俊, 丸田道雄, ハングアンヒ, 大田尾浩. 立ち上がり動作時の介助の有無と立位での足指圧迫力の関連—地域在住高齢者を対象とした横断研究—. 第2回日本老年療法学会, 2023年9月 (奄美)
12. 釜崎大志郎, 田平隆行, 末永拓也, 吉田祿彦, 下木原俊, 丸田道雄, 韓旻熙, 赤崎義彦, 日高雄磨, 大田尾浩. 健常成人の前後方向の重心移動能力には, 足指把持力よりも立位での足指圧迫力が関係する. 九州理学療法士学術大会2023, 2023年11月 (熊本)
13. 久木崎航, 大野勘太, 丸田道雄, 下木原俊, 田平隆行. 橈骨遠位端骨折術後患者に対する ADOC-H と Occupational coping skill sheet を用いた作業療法の長期効果—ヒストリカル・コントロール試験—. 第35回日本ハンドセラピー学会学術集会, 2023年4月 (東京)
14. 久木崎航, 大野勘太, 下木原俊, 丸田道雄, 田平隆行. 橈骨遠位端骨折術後患者に対する ADOC-H を用いた作業療法と身体機能訓練を併用した実践の長期的有用性の検討. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
15. 下木原俊, 丸田道雄, 日高雄磨, 赤崎義彦, 田平隆行. COVID-19拡大前後の地域在住高齢者における大切な作業の特徴について. 九州作業療法学会2023, 2023年7月 (鹿児島)
16. 下木原俊, 池田由里子, 松田史代, 田平隆行. 地域在住高齢者のモバイル機器習熟度と主観的認知機能および金銭管理能力との関連. 第2回日本老年療法学会, 2023年9月 (奄美)
17. 下木原俊, 丸田道雄, 赤崎義彦, 日高雄磨, 田平隆行. ナビアプリを用いた高齢者の移動支援—高齢者および若年者の視線行動の特徴と効率的歩行に関する研究—. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
18. 高橋啓, 石橋裕, 田平隆行. 人工股関節全置換術後のクライアントに対する生活行為工程分析表 (PADA-D) を用いた作業療法実践. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
19. 竹下晃, 井上和博, 築瀬誠. 片麻痺を呈する小児脳損傷における CI 療法の効果についての後方視的検討. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
20. 田平隆行, 佐賀里昭, 丸田道雄, 下木原俊, 岡部拓大, 磯直樹, 韓旻熙, 南拓磨, 川越雅弘. グループホームと認知症対応型通所介護における行動心理症状の特徴. 第38回日本老年精神医学会秋季大会, 2023年10月 (東京)
21. 田平隆行, 韓旻熙, 池田由里子, 下木原俊, 丸田道雄. 地域在住認知症高齢者の認知機能低下に伴う家事能力 (食後の片付け, 生活用品・寝具管理, 掃除, ゴミ処理) の特徴. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
22. 富永麗華, 中間賢二, 窪田正大. ADL・IADL 介入を通してセルフアウェアネスの改善を図ったことで主婦として家事が担えるようになった半側空間無視患者の一例. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島. 2023年6月 (鹿児島)
23. 中原伶奈, 日高雄磨, 赤崎義彦, 大勝秀樹, 田平隆行. 主観的記憶障害を有する高齢者の服薬管理の特徴. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
24. 中村裕樹, 長野芳幸, 石田俊, 松元朗, 瀬戸上敬志, 下田哲平, 窪田正大. 訪問リハビリテーション利用者における転倒リスクと身体機能の特徴について. 第25回日本骨粗鬆症学会. 2023年9月 (名古屋)
25. 中間賢二, 八反九健二, 窪田正大. 施設外訓練における患者と患者家族の主観的評価に関する研究. 第57回日本作業療法学会. 2023年11月 (沖縄)
26. 平嶋佑太郎, 吉満孝二, 西綾, 坂下寛志, 平川智士. ビデオ通話システム「ami」を用いた在宅高齢者の見守り・コミュニケーション支援の一例. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島. 2023年7月 (鹿児島)
27. 韓旻熙, 丸田道雄, 釜崎大志郎, 下木原俊, 田平隆行. 地域在住高齢者における心の理論と認知機能との関連. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月 (沖縄)
28. 日高雄磨, 丸田道雄, 赤崎義彦, 大勝秀樹, 田平隆行. 地域在住高齢者における主観的健康と意味のある活動の満足度との関

## 業 績 目 録

- 連および活動の特徴. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月(沖縄)
29. 藤田賢太郎, 吉満孝二, 福永一喜, 田中有貴, 森恵. ICTを活用した遠隔見守りシステムによる在宅高齢者の自立支援と介護者の業務最適化への取り組み, 九州作業療法学会2023 in 鹿児島, 2023年7月(鹿児島)
  30. 前村英葵, 中山優紀, 柳田信彦, 佐藤大輔. 積極的な治療参加につながった双極性感情障害患者の心理教育. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月(沖縄)
  31. 益満智美, 宮田昌明, 佐々木八千代, 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 川添晋, 窪菌琢郎, 竹中俊宏, 大石充. 地域在住高齢者における睡眠時間と質における血清脂質値と血糖値との関連. 第59回日本循環器病予防学会学術集会, 2023年6月(鹿児島)
  32. 丸田道雄, 下木原俊, 赤崎義彦, 日高雄磨, 田平隆行. 注意バイアスと楽観性および悲観性との関連. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月(沖縄)
  33. 柳田信彦, 井上和博, 赤崎安昭, 平嶺真吾, 矢野飛鳥, 富山おりえ. 施設入所中の認知症患者に対するグループ回想法によるメンタルヘルスへの影響～ネガティブと思われる経験の想起が穏やかなひと時を提供したと思われる事例を通して～. 第62回日本心身医学会九州地方会, 2023年1月(鹿児島市)
  34. 吉田康太郎, 日高雄磨, 大勝秀樹, 窪田正大. 回復期の脳卒中患者における主観的幸福感の変化とリハビリテーションがおよぼす効果との関係について. 第57回日本作業療法学会. 2023年11月(沖縄)
  35. 吉満孝二, 山之内瑞穂, 岩渕俊一郎, 藤田賢太郎, 福永一喜. 在宅高齢者の見守りと健康管理のためのビデオ通話システム「ami」の開発. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島, 2023年7月(鹿児島)

### 【講演】

1. 赤崎安昭. 心身医学と精神医学の協働—刑事司法精神鑑定例から得た教訓は「協働」に貢献する—. 第62回日本心身医学会九州地方会, [大会長講演] 令和5年1月28日, 29日(28日発表)(鹿児島市)(ハイブリッド開催)
2. 赤崎安昭. (1) 学習理論「成人教育」(2) カリキュラムプランニング「カリキュラム目標設定」(3) 研修医への学習支援Ⅰ 目標設定「問題点の抽出と目標設定」(4) 計画づくり, 評価「カリキュラムの計画づくり: 方略(方法+戦略)」どう評価するか? (5) 研修医への学習支援Ⅱ 方略「学習方略の計画づくり(基礎編)」研修医への指導に関して具体的な学習支援のあり方を検討(6) 研修医への学習支援Ⅲ 評価「評価の計画づくり(基礎編)」学習法力とともに評価をつけて完成させる. 令和4年度精神科七者懇談会主催 第3回「臨床研修指導医講習会」(企画責任者), 令和5年3月4日, 5日(東京)(ハイブリッド開催)
3. 赤崎安昭. うつと自殺—司法精神鑑定の事例を通して—. 川内市医師会, ヴィアトリス製薬会社, 住友ファーマ株式会社共催 川内市医師会学術講演会, 令和5年3月24日(web開催)
4. 赤崎安昭. 心の癖を知る方法—メンタルヘルス問題解消を目指して—. 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 令和5年6月1日(鹿児島市)
5. 赤崎安昭. 刑事精神鑑定—気分障害の鑑定経過及び犯罪病理も含めて—. 宮崎県精神科医会懇話会, 令和5年6月10日(宮崎市)
6. 赤崎安昭. 統合失調症の精神鑑定—供述が変遷したことで「責任能力」が裁判員裁判の争点になった事例—. 第119回日本精神神経学会学術総会【シンポジウム: 統合失調症事例の精神鑑定】, 令和5年6月22日, 23日, 24日(22日発表)(横浜市)
7. 赤崎安昭. 事例検討 指定討論. 日本司法精神医学会主催 第15回刑事精神鑑定事例検討会, 令和5年7月30日
8. 赤崎安昭. 「不安」を主症状とする病態と治療—事例提示も含めて—. 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 令和5年8月3日(鹿児島市)
9. 赤崎安昭. 航空宇宙の安全を願って—犯罪精神病理学的立場から—. 第11回日本航空宇宙精神神経学会 鹿児島大会, [大会長講演] 令和5年10月1日(鹿児島県霧島市)
10. 赤崎安昭. うつ病の症状・病態・治療—復職支援プログラムの紹介も含めて—. 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 令和5年10月5日(鹿児島市)
11. 赤崎安昭. 両親を殺害し自宅に放火をした事例の機序と責任能力. 日本精神神経学会主催 第16回日本司法精神医学会研修会 司法精神医学の基本 事例検討, 令和5年11月12日(福岡市)
12. 赤崎安昭, 福田恭哉, 福迫剛, 森岡洋史. 初発統合失調症の刑事精神鑑定. 第60回日本犯罪学会総会, 令和5年11月25日(東京)
13. 赤崎安昭. 精神鑑定の倫理と中立性. 日本司法精神医学会主催 第15回刑事精神鑑定ワークショップ, 令和4年12月9日(web開催)
14. 赤崎安昭. 事例検討 放火に至った初発統合失調症. 日本司法精神医学会主催 第15回刑事精神鑑定ワークショップ, 令和5年12月10日(web開催)

## 業 績 目 録

15. 池田由里子. OTの立場から見る認知症高齢者に対するアプローチ等. 鹿児島県老人保健施設協会第2回PT・OT・ST部会研究会, 2023年11月(鹿児島市)
16. 井上和博. 配慮の必要な子どもの理解と支援. くすのこ保育園幼児保育相談事業, 2023年1月(鹿児島)
17. 井上和博. 子どものからだの発達を促す関わりについて—7ヵ月~11ヵ月を対象に—. 鹿児島市りぼんかん, 2023年6月(鹿児島)
18. 井上和博. 配慮の必要な子どもの理解と支援. くすのこ保育園幼児保育相談事業, 2023年6月(鹿児島)
19. 井上和博. 児童発達支援における「遊び活動」の実施. 九州作業療法士学会2023 in 鹿児島 シンポジウム2, 2023年7月(鹿児島)
20. 井上和博. 子どもの運動(からだ)の発達を促す関わり. 鹿児島市保育園協会中央ブロック保育園 研修会, 2023年8月(鹿児島)
21. 井上和博. 配慮の必要な子どもの理解と支援. ふじが丘保育園幼児保育相談事業, 2023年9月(鹿児島)
22. 井上和博. 大人の発達障害. 鹿児島県作業療法士協会 発達支援チーム, 2023年12月(鹿児島)
23. 窪田正大. 遂行機能障害と社会的行動障害について—症状の特徴と対応について—. 令和5年度「高次脳機能障害」理解のための講演会, 2023年12月(鹿児島)
24. 田平隆行. もの忘れ高齢者の残存能力を活かした生活支援—日常生活の分析と環境・リハ支援. 鹿児島大学研究シーズ発見セミナー, 2023年1月(鹿児島)
25. 田平隆行. 認知症初期段階におけるリハビリテーション. 日本老年療学会教育セミナー, 2023年2月(Web)
26. 田平隆行. 認知症高齢者が住みなれた地域で継続して暮らすための療法師の視点と実際. 令和4年度鹿児島県訪問リハビリテーション研修会ステップアップ研修会, 2023年3月(Web)
27. 田平隆行. 臨床現場での認知症患者の関わり方—生活行為を中心として—. 桜十字福岡病院若手セラピスト企画第1回 EDUCATIONAL セミナー, 2023年4月(Web)
28. 田平隆行. 注意バイアスと自己選択に関する事象関連電位研究. 第25回日本薬物脳波学会学術集会. シンポジウム「電気生理学的手法の作業療法学への展開と未来」. 2023年8月(Web)
29. 田平隆行. 認知症高齢者のADL支援. 離島のリハビリテーションに関する研修会, 2023年8月(徳之島)
30. 田平隆行. 自分らしい暮らしの実現のために, いくつになってもできること. 市民公開講座. 全ライフステージを対象とした支援の実践, 2023年9月(奄美)
31. 田平隆行. 認知症高齢者の活動・参加を促す作業療法. 第37回日本老年精神医学会多職種連携シンポジウム, 2023年10月(東京)
32. 田平隆行. 認知症および転倒防止に有効な生活スタイル. オアシスケア喜界講演会, 2023年12月(喜界町)
33. 柳田信彦. 精神科病院に従事する医療関係者を対象とした防災啓発活動の取組. 地域防災教育研究センター主催・第35回鹿大防災セミナー, 2023年2月(WEB)
34. 柳田信彦. 介護老人保健施設・認知症専門棟における回想法(基礎編). 医療法人寛谷会介護老人保健施設さくらんぼ研修会, 2023年7月(鹿児島市)
35. 柳田信彦. 介護老人保健施設・認知症専門棟における回想法(応用編). 医療法人寛谷会介護老人保健施設さくらんぼ研修会, 2023年11月(鹿児島市)
36. 築瀬誠. 精神障害者家族の現状と願い. 令和5年度鹿児島・日置地区民生委員・児童委員現任研修会, 2023年12月(日置市)
37. 吉満孝二. 介護ロボット導入を端緒とした介護現場における生産性の向上. 鹿児島県老人保健施設協議会21世紀委員会研修会, 2023年3月
38. 吉満孝二. 介護ロボット最前線. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島学会長講演, 2023年7月(鹿児島)
39. 吉満孝二. 介護ロボット導入の意義と効果. 鹿児島県社会福祉協議会令和4年度介護職スキルアップ研修, 2023年1月(鹿児島市)
40. 吉満孝二. 介護ロボットの特徴と選定の目安. 鹿児島県社会福祉協議会介護ロボットパッケージモデル研修会, 2023年5月(鹿児島市)
41. 吉満孝二. 高齢者の支援と介護ロボット. 第48回明和校区社会福祉協議会総会講話, 2023年7月(鹿児島市)
42. 吉満孝二. 介護ロボット～活用方法と効果～. 鹿児島県社会福祉協議会令和5年度介護ロボット体験講座, 2023年8月(鹿児島市)
43. 吉満孝二. 介護ロボット導入の意義と効果. 社会福祉法人みらい研修会, 2023年8月(鹿児島市)

## 業 績 目 録

44. 吉満孝二. 患者の観察とリハビリテーション. いっばいっばの会研修会, 2023年10月 (鹿児島市)
45. 吉満孝二. 介護ロボットの効果的活用と効果. 鹿児島県社会福祉協議会介護ロボット導入支援研修会・熊本県パッケージモデル普及研修, 2023年11月 (熊本市)
46. 吉満孝二. 高齢者の支援 認知症と社会的孤立. 認知症および認知症ケアに関する研修会 (介護の森グループ合同研修会), 2023年11月 (鹿児島市)
47. 吉満孝二. 介護ロボットの効果的活用と効果. 鹿児島県社会福祉協議会介護ロボット導入支援研修会・沖縄県パッケージモデル普及研修, 2023年12月 (沖縄県)

### 【その他】

(座長等)

1. 窪田正大. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島, 2023年6月 (鹿児島)
2. 田平隆行. 脳卒中への多職種・異分野融合アプローチ. 第2回日本老年療学会学術集会, 2023年9月 (奄美)
3. 田平隆行. リハビリテーション領域における Real World Data の活用. 第17回日本作業療法研究学会, 2023年11月 (名古屋)
4. 田平隆行. 基調講演3「新時代の認知症医療における OT の役割と期待」. 第57回日本作業療法学会, 2023年12月 (沖縄)
5. 田平隆行. 高齢期1. 第57回日本作業療法学会, 2023年12月 (沖縄)
6. 吉満孝二. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島. 教育講演3, 2023年7月 (鹿児島)
7. 吉満孝二. 鹿児島県社会福祉協議会令和4年度介護職スキルアップ研修. 実践報告3, 2023年1月 (鹿児島市)
8. 吉満孝二. 鹿児島県社会福祉協議会介護ロボット導入支援研修会・沖縄県パッケージモデル普及研修3. 実践報告, 2023年12月 (那覇市)

(その他の活動)

1. 吉満孝二. 学会長. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島, 2023年7月 (鹿児島市)

(症例報告他)

1. 田平隆行. あなたにとって作業療法とは何ですか107. 作業療法ジャーナル57 (12) : 1349, 2023.

(報告書等)

1. 赤崎安昭. 「コロナ禍」がメンタルヘルス問題に与えた影響と今後について. 鹿児島県医師会報 863 : 80-89, 2023
2. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「感覚・運動・単純操作遊び①—幼児期前半編—」. 発達教育42巻 (4) : 25-27, 2023
3. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「感覚・運動・単純操作遊び②—幼児期後半編—」. 発達教育42巻 (5) : 25-27, 2023
4. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「小集団における遊びの計画と実施」. 発達教育42巻 (6) : 25-27, 2023
5. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「おもちゃ遊び」. 発達教育42巻 (7) : 25-27, 2023
6. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「構成(作る)遊び」. 発達教育42巻 (8) : 25-27, 2023
7. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「遊びを通して子どもの状態を知る」. 発達教育42巻 (9) : 25-27, 2023
8. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「社会的遊び—幼児期後半編—」. 発達教育42巻 (10) : 25-27, 2023
9. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「楽しい運動」. 発達教育42巻 (11) : 25-27, 2023
10. 井上和博. 発達を促す遊び・運動「ボール遊び」. 発達教育42巻 (12) : 25-27, 2023
11. 五十嵐人, 田平隆行, 栗田圭一ほか. 日常生活自立支援事業の適正かつ効果的な利用に関する調査研究事業. 厚生労働省令和5年度社会福祉推進事業, 2023
12. 田平隆行, 下木原俊. ADL の工程・動作に関わる環境因子のチェックリスト (PA-ADL) の開発に関する研究—食事の支度, 生活の管理に関わるチェックリストの整合性の分析—. 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 認知症政策研究. 認知症者の在宅生活を維持する非訪問型の生活評価・介入システムの標準化に関する研究 (代表: 池田学). 2022年度報告書. <https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/163666>
13. 吉満孝二, 藤田賢太郎, 白間一善. 介護ロボット排泄支援分野「DFree」を試用して. 令和4年度介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業成果報告書 (厚労省), 2023年3月
14. 吉満孝二, 藤田賢太郎, 井ノ原邦彦. 介護ロボット移乗支援分野 (マッスルスーツ Every) を試用して. 令和4年度介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業成果報告書 (厚労省), 2023年3月

## 業 績 目 録

15. 吉満孝二, 藤田賢太郎, 住吉賢一. 特別養護老人ホームにおける排泄支援の取り組み. 令和4年度介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業成果報告書 (厚労省), 2023年3月

### 【(司法精神鑑定)】

1. 赤崎安昭. 令和5年1月4日 住居侵入・銃砲刀剣類所持等取締法違反刀剣類・殺人未遂 被告事件 公判鑑定 (裁判員法50条鑑定)
2. 赤崎安昭. 令和5年1月18日 暴行 被告事件 公判鑑定
3. 赤崎安昭. 令和5年2月16日 公務執行妨害・傷害 被疑事件 簡易鑑定
4. 赤崎安昭. 令和5年7月31日 殺人未遂 被疑事件 起訴前本鑑定
5. 赤崎安昭. 令和5年10月20日 放火 被告事件 公判鑑定
6. 赤崎安昭. 令和5年11月27日 殺人未遂 被疑事件 起訴前本鑑定

### 【民事精神鑑定】

1. 赤崎安昭. 令和5年1月9日 後見開始の審判申立事件
2. 赤崎安昭. 令和5年1月23日 後見開始の審判申立事件
3. 赤崎安昭. 令和5年2月28日 後見開始の審判申立事件
4. 赤崎安昭. 令和5年3月14日 後見開始の審判申立事件
5. 赤崎安昭. 令和5年4月28日 後見開始の審判申立事件
6. 赤崎安昭. 令和5年5月1日 後見開始の審判申立事件
7. 赤崎安昭. 令和5年6月5日 損害賠償請求事件に対する意見書
8. 赤崎安昭. 令和5年8月7日 後見開始の審判申立事件
9. 赤崎安昭. 令和5年9月25日 後見開始の審判申立事件
10. 赤崎安昭. 令和5年12月12日 後見開始の審判申立事件・申立ての趣旨変更後「保佐開始審判申立事件」・代理権付与の審判申立事件
11. 赤崎安昭. 令和5年12月25日 後見開始の審判申立事件

### 【医療観察法に関する業務】

1. 赤崎安昭. 放火事件 令和5年6月5日

### 【労働災害に関する業務】

1. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年1月11日
2. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年3月15日
3. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年5月8日
4. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年6月12日
5. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年8月13日
6. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年9月11日
7. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年9月14日
8. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年10月11日
9. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年11月14日
10. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年11月29日
11. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年12月11日
12. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年12月25日
13. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年12月26日
14. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年12月26日
15. 赤崎安昭. 労働災害に対する鑑定書 令和5年12月26日

### (表彰・受賞)

1. 久木崎航, 大野勘太, 丸田道雄, 下木原俊, 田平隆行. 最優秀演題賞. 第35回日本ハンドセラピィ学会学術集会, 2023年4月

## 業績目録

(東京)

2. 釜崎大志郎, 田平隆行, 八谷瑞紀, 下木原俊, 丸田道雄, ハンゴアンヒ, 大田尾浩. 学会長賞. 第30回佐賀県理学療法士会学術大会, 2023年1月(佐賀)
3. 下木原俊, 池田由里子, 松田史代, 田平隆行. 奨励賞. 第2回日本老年療法学会, 2023年9月(奄美)
4. 日高雄磨, 丸田道雄, 赤崎義彦, 大勝秀樹, 田平隆行: 最優秀演題賞. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月(沖縄)
5. 藤田賢太郎, 吉満孝二, 福永一喜, 田中有貴, 森恵. 優秀演題賞. 九州作業療法学会2023 in 鹿児島, 2023年7月(鹿児島)
6. 吉満孝二. 令和4年度鹿児島大学医学部保健学科ベストティーチャー賞受賞. 鹿児島大学医学部保健学科, 2023年4月